

北薬大情報

北海道薬科大学広報部

2015.6.12

vol. 123



●薬剤師生涯研修プログラム ●本学教員が北海道分析化学奨励賞を受賞 ●平成26年度 薬学共用試験が終了●赴任のご挨拶 ●平成27年度 学部入学試験結果 ●科学研究費補助金 ●人事異動のお知らせ ●校務役職発令

●年間行事予定 ●オープンキャンパスのご案内 ●平成28年度 学生募集要項(概要)



1 新校舎での始講 2 入学宣誓式のようす

3 卒業祝賀パーティーでの記念撮影 4 薬物乱用防止キャンペーンでのブースのようす



新校舎での講義が始まりました

4月13日(月)、新校舎での前期講義がい よいよ始まりました。

この春から、北海道薬科大学の学生たちの学生生活の場は、主に共用講義棟(A棟)と研究棟(B棟)となりました。「共用講義棟」という名の通り、A棟2階では薬大と北海道科学大学保健医療学部の講義が行われています。A棟3階は薬大専用の講義室です。新しい学び舎で、学生たちも新たな気持ちで勉強に励んでいます。

「研究棟」であるB棟には、各階に教員の研究室があるほか、2階には学生共同の学びの場である「ラーニング・コモンズ」が新設され、学生の学習・研究の手助けをしています。また、4年生以上の学生が学習・研究を行う場となるセミナー室もB棟の各階に置かれています。

新校舎の詳しいようすは「北薬大新校舎ブログ」(http://www.hokuyakudai.ac.jp/report blog/)をご覧ください。







平成27年度 入学宣誓式告辞

北海道薬科大学 学長 渡辺 泰裕

平成27年度の入学宣誓式を4月6日(月)に挙行し、薬学部薬学科226名、大学院薬学研究科臨床薬学専攻博士課程1名が入学しました。ここに、入学宣誓式での学長告辞の全文を掲載します。

厳しく長い北海道の冬も終わり、春の陽射 しを感じることができるようになりました。薬 学部薬学科226名、大学院薬学研究科臨床 薬学専攻博士課程1名の入学生の皆さん、 本日はおめでとうございます。平成27年度の 入学式を挙行するにあたり、教職員を代表し て、心から歓迎いたします。また、本日の入学 宣誓式に、ご多忙のところ、ご出席いただき ました学校法人北海道科学大学西安信理 事長をはじめとした役員の方々、法人設置の 北海道科学大学および北海道科学大学短 期大学部の学長、北海道尚志学園高等学 校、北海道自動車学校の各校長、ならびに北 海道薬剤師会会長、北海道薬科大学同窓会 および父母後援会の各会長、本学名誉教授 の皆さまに心より感謝申し上げます。さらに、 本日、多くの入学生の皆さんのご家族も、こ の入学宣誓式にご出席いただきました。今日 のこの時まで入学生を支え、励ましてこられ たご家族の皆さまのお慶びもいかばかりかと 拝察し、心からお祝い申し上げます。そして、 北海道薬科大学に入学した皆さんが、こうし た多くの方々の祝福と期待を胸に、今日から の学生生活を有意義に過ごされることを心 から期待します。

さて、皆さんが本日入学した北海道薬科 大学は、1974年に小樽市桂岡の地で開学 しましたが、40年の月日の中で建物は老朽 化し建て替えが必要になってきました。しか し、桂岡の校舎は高台にあったため、教育と 研究を維持しながらの建て替えは難しい状 況でした。こうした困難を解決するため、新 校舎を系列の北海道科学大学の敷地内に 建築し、新たな土地で新たな教育のスタート を切ることになりました。これまでの北海道 薬科大学の薬剤師養成教育を継続しつつ、 教育の柱である「医療に貢献できる薬剤師 の育成」の新たな展開を目指していきます。 皆さんは、その第一期生として先頭に立って 行動してください。

本年度は新校舎への移転とともに、新カリキュラムをスタートさせます。6年制薬学教育においては、その質を担保するため「薬学教育モデル・コアカリキュラム」に準拠することが求められていますが、旧薬学教育モデル・コアカリキュラムは、その内容が過密であるがゆえに大学の特色が発揮しにくいこと、6年制薬学教育の重要な柱である病院と薬局での実務実習に重複をはじめとした多くの問題点があることなどから改訂作業が進められ、全国の薬系大学・薬学部において本年4月から、新薬学教育モデル・コアカリキュラムに準拠した新カリキュラムを施行することになりました。新カリキュラムでは、下記の10の資質に基づく教育が行われます。

「10の資質」はこれから皆さんが教育の中で身につけるべき能力です。4番目のチーム 医療への参画では、医療機関のみならず、地域における医療チームに参画し、相互の職能を尊重しながら薬剤師として適切な行動 をとることが求められます。6番目の薬物療法の実践的能力は、薬剤師にとって必要とされる最も重要な基本能力で、薬物療法を評価し、安全で有効な医薬品の使用を推進するために、医薬品の供給、調剤、服薬指導、処方設計の提案等の薬学的管理を実践する能力です。そして最後の教育能力は、次世代を担う人材を育成する意欲と態度になります。皆さんの6年間の目標は、北海道薬科大学の6年制薬学教育を学ぶことをとおして10の資質を獲得することです。

私たちの学園の共通口ゴは「+Professional」です。プロフェッショナルとは、特定な分野における高度な知識と特別な技能ということですから、皆さんの立場に置き換えると、高度な知識と技能が備わった薬剤師になります。調剤行為など医薬品を供給する専門職としての薬剤師にとどまらず、患者の病態に応じた薬物療法の安全性・有効性を保証する専門職ということになると思います。+Professionalを目指し、真に医療に貢献できる薬剤師を目指してください。皆さんの目標は明確です。日々、着実に努力してください。

明日から、新しいキャンパスで、新しい教育を実践します。私たちと一緒にすばらしい 校風をもった大学を作りましょう。

10

の

①薬剤師としての心構え

②患者・生活者本位の視点

③コミュニケーション能力

④チーム医療への参画

⑤基礎的な科学力

⑥薬物療法における実践的能力

⑦地域の保健・医療における実践的能力

⑧研究能力

9自己研鑽、専門性の涵養

⑩教育能力



٠,

公開講座&大学施設見学ツアーを開催

4月26日(日)に、手稲区民対象の公開講座&大学施設見学ツアー「北海道薬科大学が手稲区にやってきました」を開催し、108名にご参加いただきました。このイベントは移転先の手稲区の住民の皆さんに、北海道薬科大学のことを知っていただくことを目的とした企画です。

渡辺学長の挨拶と大学紹介の後、小松健 一准教授による「未病を治す漢方医学」、山 下美紀准教授による「ジェネリック医薬品っ てどんな薬だろう?」の2つの講演を行いまし た。漢方薬とジェネリック医薬品という一般 の方に関心の高いテーマの講演に、受講され た皆さんは熱心に耳を傾け、講演後は質問も 寄せられました。

続いて、野呂瀬崇彦准教授による「北海道 薬科大学の教育に参加してみませんか〜模 擬患者(患者さん役)説明会〜」と題した「模擬患者」についての説明会を行いました。実際に本学の教育にボランティアとして参加している模擬患者の方からの体験談など、薬学生の教育について一般にはあまり知られていない側面を、受講された皆さんは興味深く聴いていました。

公開講座終了後は、研究棟(B棟)の見学ツアーを行いました。実験室や実習室にて、研究や学生が受けている教育について説明を受けたほか、共同学習エリア、模擬薬局、無菌調剤室等を見学し、シミュレーター室で呼吸や心拍などのバイタルサインを測定できる人形(フィジコ)を使ったフィジカルアセスメント(身体診察技法)に挑戦しました。普段、一般の方が入ることがないエリアに足を踏み入れた参加者の皆さんは熱心に見学していました。



講演のようす



バイタルサイン測定に挑戦する参加者

平成26年度 学位記授与式を挙行

3月14日(土)に、平成26年度学位記授与 式を札幌ガーデンパレスにおいて挙行し、学部 卒業生196名に対し学位記を授与しました。

学位記授与式に続いて学業・学術面において優れた評価を受けた清水麻衣さん、森野太一君、奥野麻衣さん、眞坂拓実君が学長表彰を受賞し、それぞれに表彰状と記念品を贈呈しました。学長告辞、来賓祝辞、卒業生答辞の後、卒業生が全員で社会へ巣立

つ薬剤師として宣誓を行いました。

授与式終了後には立食形式の卒業祝賀パーティーを開催し、たくさんの卒業生とご父母が参加しました。パーティーの開催にあたり、渡辺一弘副学長、日下陽介桂青会委員長よりお祝いのことばが贈られました。パーティーは唐澤豪貴同窓会長の乾杯でスタートし、会場はおおいに賑わいました。卒業生を代表して森野太一君が挨拶のことばを述べた後、最後



に猪爪信夫副学長による激励のことばで、パー ティーは盛会のうちに終了しました。



平成26年度「大和田賞」授与

3月14日(土)の学位記授与式内で、第3回大和田賞の授与式を行いました。大和田賞は故大和田榮治前学長からのご寄付により、平成24~29年度の6年間にわたり、

卒業生のうち6年次の総合演習の成績上位者2名に対して、各10万円の奨学褒賞金を授与するものです。平成26年度は茨木泰裕君、森野太一君が受賞しました。



左より森野太一君、茨木泰裕君



学生部長表彰

3月14日(土)の学位記授与式に先立ち、 札幌ガーデンパレスにおいて学生部長表 彰の授賞式を行いました。今回の表彰者は、 日本薬学会第4回全国学生ワークショップ に本学代表として参加し、ワークショップ の成功に大きく貢献した6年生の池本舞さんです。その業績が本学の名誉を著しく高めたと認められました。表彰者には、丹保学生部長から表彰状および記念品が手渡されました。



表彰状を受け取る池本舞さん(右)

「薬物乱用防止キャンペーン」に参加

3月8日(日)に、札幌薬剤師会とFMラジオ局AIR-G'共同主催の「第9回薬物乱用防止キャンペーン~ひとつの命を大切に~」がサッポロファクトリー・アトリウムで開催され、本学から桂青会薬物乱用防止局をはじめとする学生17名が参加しました。「北海道薬科大学コーナー」のイベントブースでは、薬用入浴剤づくりや、色水を使った注射剤づ

くり、お菓子を使った粉砕調剤などの模擬体験実習を実施し、約160名の子供たちが参加しました。ステージ上では、お茶と鉄剤、制酸剤とオレンジジュースを一緒に飲んではいけない理由を解説するための実験を含めたクイズ大会やダンス部による華麗なパフォーマンスを行いました。多くの子どもたちが参加し、たいへんな賑わいを見せていました。



参加者での記念撮影



本学学生が日本薬学会で優秀発表賞を受賞

3月25日(水)~28日(土)に、日本薬学会 第135年会が神戸で開催され、本学大学院 博士課程4年の山佳織さんが「エパルレスタットによるグルタチオン合成誘導に関する研 究」のタイトルで優秀発表賞を受賞しました。 山さんは丹保好子教授の指導のもとで、生体 内の抗酸化機能が糖尿病性神経障害治療薬 であるエパルレスタットにより増大することを 明らかとし、そのメカニズムについて検討を 行い、その成果が評価されました。

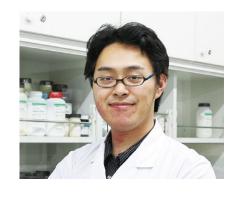




本学学生が日本薬学会長井記念 薬学研究奨励支援事業の採用者に決定

本学大学院博士課程2年生の兼平幸宗君 (指導教員:薬剤学分野丁野純男教授)が、平成27年度日本薬学会長井記念薬学研究奨励支援事業の採用者として選出されました。

長井記念薬学研究奨励支援事業は、大学 院博士課程の学生の研究を支援するために 日本薬学会が設けた奨励金制度です。今回の募集では、58大学より245名の応募があり、審査の結果、35大学・36名の採用者が選出されました。採用者の一人に選ばれたことはたいへん素晴らしくかつ名誉なことです。 今後のさらなる研究の進展が期待されます。





新入生一泊オリエンテーションを開催

4月8日(水)、9日(木)、ガトーキングダム 札幌において新入生一泊オリエンテーショ ンを開催しました。本行事は、新入生がクラ ス担任、学生同士との親睦を深めるととも に、これから始まる大学生活への不安を和 らげ、スムーズに大学生活に入れるようにな ることを目的としています。

今年で7年目を迎える本行事は、今回も、 2~6年の学部生20名のファシリテーター が中心となって進められました。最初は緊張 気味だった新入生も、ファシリテーターや担 任教員のサポートにより徐々に笑顔がみえ、 夕食時にはクラスメンバー以外とも積極的 に会話を交わしていました。夕食後の「先輩 と語ろうタイム」では、大学の勉強や部活動 などの率直な疑問にファシリテーターたち が答えていました。

参加した新入生からは、「最初は緊張したが、ファシリテーターや先生のお陰でスムーズに知り合いが増えた」、「二日目のワークで、大学生活に対する不安がすこし解消した。また、いろいろな人の意見を聴くことができて視野が広がった気がする」といった声がありました。また、ファシリテーターからは、「最初は表情が硬かった新入生が、帰りのバスでは笑顔で友達と話す様子を見て、本当に嬉しかった」、「準備は大変だったけれど、みんなで新入生をサポートするという体



験ができた。誰かの役に立つということは、こんなに気持ちのよいことなのだと、初めて思った」、「新入生の仲間作りを支えるという役割だったけれど、先生方や新入生に支えられていることも実感できた。この体験ができてよかった。来年もファシリテーターをやりたい」という感想もありました。参加者全員にとって意義のある行事となりました。今後も学生が中心となって、さらに充実したイベントにしていきたいと思います。



新入生対象講演会及び歓迎会を開催

4月11日(土)、新入生を対象に講演会を開催しました。第一部は、山形県天童市のおいのもり調剤薬局の加藤淳先生による「喫煙と健康被害について」でした。喫煙による健康被害、禁煙指導と薬剤師の関わりについて、画像や動画を交えながらの分かりやすい講演でした。第二部は、北海道警察本部刑事部薬物銃器対策課の波岸史明警部による「薬物乱用防止について」でした。危険ドラッグによる事件をもとに、その恐ろしさや薬物乱用防止の取り組みにつ

いての講演でした。講演後、新入生から 様々な質問が飛び交い、活発な質疑応答 が行われました。

同日午後からはHITプラザで、桂青会主



講演会のようす

催の新入生歓迎会が賑やかに行われました。新入部員を獲得しようと各部やサークルがそれぞれ趣向を凝らした発表を行い、 盛況のうちに歓迎会は終了しました。



マ迎会のようす

第1回就職相談会を開催

前田キャンパスに移転後、初めての就職相談会を4月18日(土)にA棟2階および3階の講義室において、北海道内外の病院(104)、薬局(75)、製薬企業・医薬品卸・行政機関など(23)、計202企業の採用担当者の参加のもと開催しました。

12時よりA棟1階の講義室において渡辺 泰裕学長、和田浩二就職部長の挨拶に始 まり、就職相談会の注意事項の説明後、企業ブースにおいて学生との個別面談が行われ、学生は採用担当者から採用条件、職務内容、就職試験や勤務地などの詳細な情報を収集しました。相談会には6年生172名が参加し、また、キャリア教育の一環として2年生2名、3年生3名、4年生24名、5年生77名が見学体験や情報収集のため相談会



に参加しました。



第24回卒業生・在学生合同懇話会を開催

第1回就職相談会終了後、ホテルオークラ札幌において、社会で活躍する卒業生からより多くの情報を収集することを目的とした、北海道薬科大学同窓会(北薬会)主催の第24回卒業生・在学生合同懇話会を開催しました。

参加者は、調剤薬局、病院、医薬品卸、薬 事・衛生関連企業および製薬会社などに勤 務する卒業生150名、在学生155名、教職員28名の総勢333名でした。唐澤豪貴同窓会長と渡辺泰裕学長の挨拶で始まった会では、テーブルの配置を工夫したこともあり、在学生は仕事に関する具体的な内容や就職活動のポイントなどについて、卒業生に積極的に質問していました。時間を過ぎても大勢の在学生と卒業生が語り続けていました。





SDA(安全運転者の会) 総会および交通安全講習会を開催

4月23日(木)に平成27年度SDA (Safety Drive Association=安全運転者の会)総会および交通安全講習会を開催し、246名の学生と教職員が参加しました。総会は現SDA会長・村上彩子さん(3年生)の司会で進められ、村上さんが平成27年度SDA会長を引き続き務めることが満場一致

で決まりました。平成26年度決算と平成27年度予算が承認された後、「セーフティラリー北海道2015」の紹介と参加申込案内が行われました。続いて、手稲警察署交通第一課長 寺岡昌司警部による交通安全講習会が開催されました。ドライブレコーダー映像を収録したDVDにより、交通事故の一瞬を検



証し、スピードを抑えて走ることの重要性を 再確認しました。



ハワイ語学研修を終えて

私たちは2015年3月1日から3月15日にかけて、ハワイ語学研修に参加してきました。「とても充実した、かけがえのない日々を過ごせた」というありがちな表現が真っ先に口に出てしまうような、でも、それが素直な気持ちだと断言できる、そんな貴重な体験をすることができました。

初日のウェルカムレセプションや、 Rob先生の授業で繰り返し言われたフ レーズがあります。"Don't be shy!"---「恥ずかしがらないで!」と、私たちは言 われました。英語が話せなくても、まず は言葉に出してみることが英会話上達へ の大切な第一歩であると学ぶことができ ました。ハワイでは、周りで話される言葉 のほとんどが英語です。おかげで、ハワイ に滞在するだけで英語を聞く能力はとて も鍛えられます。しかし、英語を話す能 力は自ら挑戦しないとハワイにいるだけ では鍛えられません。"Don't be shy!" ---このフレーズこそがハワイ語学研修に 参加するうえでとても大切で、極端に言え ば、まずは挑戦してみるだけでもこの語 学研修に参加する意味があったのではな いかと考えています。

ここまで非常にぼんやりとした内容を述べてきましたので、ここからはハワイでの生活を具体的に挙げてみたいと思いま

す。私たちは平日の午前中は主に授業、 午後は自由時間でした。そして、日曜日は 全員参加でノースショアのツアーに行きま した。平日の授業では当たり前のようにイン ターチェンジという、ハワイ大学の学生ろ 1時間会話をする時間があります。もちろん 会話はすべて英語です。フラダンスの レッスンを受ける機会もありました。これ ももちろん英語で説明・進行します。午後 の自由時間では、日本でも話題にないるパンケーキやハンバーガーなど、いっ の好きなものを食べたり、ビーチで泳いで りもできます。ほとんどのお店では英語で やりとりする必要があります。

このように身の回りのほとんどが海外の言葉であふれているという生活は、実際に海外に行かなければ体験できないことだと思います。初めはよくわからなかった授業が、なぜか帰るころにはだいたい理解できている。オーダーをするときに指さししていただけだったのに、数日後には英語でオーダーできている。この語学研修は、日本にいるだけではできないような「自然に英語を身に付けられる」良いチャンスだと思います。私はこの場を借りて、まだ行く機会がある1~3年生の皆様に、ぜひ研修参加をお勧めします。Don't be shy!!!



語学研修卒業式でRob先生と(右が五十嵐さん)



ノースショアで皆と記念撮影

最後に、この機会を与えてくださった大学や旅行会社の皆様、引率していただいたRoger (加藤先生)、Hilda (板倉先生)、楽しい時間を共有した友人、そしてハワイ大学の関係者の方々、特にRob先生に感謝の気持ちを申し上げます。ありがとうございました。

「北海道薬学実務実習フォーラム2015」 を開催

4月19日(日)、北海道地区調整機構、北海道薬剤師会、北海道病院薬剤師会、札幌医科大学および道内薬系3大学の共催で、「北海道薬学実務実習フォーラム2015」を開催しました。

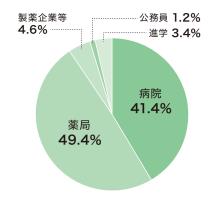
本フォーラムは、6年制薬学部の実務実習の改善・整備を目的に、調整機構、受入施設および大学がそれぞれの取り組み内容を報告し、より実りある実習の実現を目指すものです。今回は、今年度改訂となった薬学教育モデル・コアカリキュラムの概要と認定実務実習指導薬剤師の更新について報告を行いました。総合討論で



は、実際に学生を受け入れている施設からの質問や要望を基に活発な意見が交わされました。

■ 平成26年度 ■ 卒業生の就職・ 進学状況

平成26年度卒業生の就職状況は、就職希望者に対して97.7%の就職率でした。就職・進学状況についてはグラフの通りです。





平成26年度「Good Lecturer賞」が決定

平成26年度の「Good Lecturer賞」の受賞者が決定しました。「Good Lecturer賞」は、前・後期の最終授業アンケート時に、良い授業を提供していると思う教員を在学生が投票した結果で決まります。受賞者と主な担当科目は一覧のとおりです。新任教員に受賞者の授業を参観してもらうなどして、授業改善につなげていきます。

■受賞者および主な担当科目一覧

学年	前	期	後	期
子平	教員名	担当科目	教員名	担当科目
1年	髙橋 夏子 講師	生物学I	戸上 紘平 講師	物理化学I、演習II
2年	水上 徳美 准教授	放射化学、有機化学Ⅱ	山下 浩 准教授	生薬学Ⅱ、実習Ⅲ
3年	丹保 好子 教授	公衆·環境衛生学	山下 美妃 准教授	薬物治療学l
4年	坂東 勉 准教授	臨床薬理学	大滝 康一 准教授	感染制御学
5年	山下 美妃 准教授	処方解析学		



薬剤師生涯研修プログラム

北海道薬科大学は平成20年度より薬剤師生涯研修プロバイダーとしての認定を受けています。平成27年度の研修プログラムが下記のとおり決まりました。研修プログラムは、薬剤師業務に関わるタイムリーなテーマを扱うアップトゥデート講座、薬剤師が必要とする基本的な技能を実習・演習形式で学ぶスキルアップ講座、疾病ごとの病態生理と薬物治療を系統的に学ぶフォローアップ講座からなり、薬剤師実務を支援する内容となっています。詳細については本学生涯学習センターのホームページ(http://www.hokuyakudai.ac.jp/shogaikenshu/)をご参照ください。

●平成27年度 開催講座予定

講座名	回数	内 容	講師		開催日	受講定数	会 場
薬剤師	1 (114)	高齢者の摂食嚥下障害と 嚥下障害者の薬の服薬について	札幌西円山病院 歯科診療部長	藤本篤士	H27/5/15(金)	_	サテライトキャンパス
アップトゥデート 講座	2 (115)	医療従事者のための死生学	東京大学大学院人文社会系研究科 上廣死生学·応用倫理講座 特任教授	清水哲郎	H27/7/10(金)	-	サテライトキャンパス
	3 (116)	認知症高齢者に対する薬剤師の 役割と最新の治療法について	認知症介護研究・研修東京センター センター長	本間 昭	H27/9/5(土)	-	旭川トーヨーホテル
◆ 教育研修会 ✓ 教育研修会 ✓	4 (117)	薬剤師が知るべきがん性疼痛治療の 現状と今後への展望	がん研有明病院 緩和・疼痛治療部 部 長	服部政治	H27/12/4(金)	-	サテライトキャンパス
	1	薬局リーダーのための ファシリテーションスキル	北海道薬科大学	野呂瀬崇彦 村岡千種	H27/6/21(日)	20	サテライトキャンパス
	2	バイタルサインの測定と症例検討	北海道薬科大学 教 授	佐々木一晃 早勢伸正 加納誠一朗 坂東 勉 藤本哲也	H27/7/26(日)	20	北海道薬科大学
薬剤師	3	薬剤師のための 臨床推論と臨床感染症学 ①基礎編	中村記念南病院 薬剤部 札幌医科大学附属病院 薬剤部 札幌北辰病院 薬剤科 手稲渓仁会病院 薬剤部 北海道薬科大学 教 授	山田和範 藤居 賢 門村将太 山崎洋平 佐藤秀紀	H27/8/23(日)	20	サテライトキャンパス
スキルアップ 講座	4	薬剤師のための フィジカル・アセスメント 〜褥瘡外用療法の知識と技術 (ベッド実習を含め)〜	上越地域医療センター病院 薬局長 北海道薬科大学 教 授 北海道薬科大学 准教授 北海道薬科大学 講 師	宮川哲也 早勢伸正 坂東 勉 伊東佳美	H27/10/4(日)	20	北海道薬科大学
	5	在宅医療に必要な 薬物動態の考え方	どんぐり工房 代表 北海道薬科大学 教授	菅野 彊 古田精一	H27/10/25(日)	20	サテライトキャンパス
	6	薬剤師のための 臨床推論と臨床感染症学 ②応用編	Sapporo Medical Academy 代表理事中村記念南病院 中村記念南病院 薬剤部 札幌医科大学附属病院 薬剤部 札幌北辰病院 薬剤科 手稲渓仁会病院 薬剤部 北海道薬科大学 教授	岸山藤門山藤門山崎 町間	H27/11/29(日)	20	サテライトキャンパス
	1	脳梗塞の急性期医療	中村記念病院 中村記念南病院 薬剤部	未定 山澤裕司	H27/10/17(土)	50	
	2	統合失調症	こぶし植苗病院 院 長 道央佐藤病院 薬剤部長	芦澤 健 柳 智之	H27/11/7(土)	50	
病態・薬物治療	3	肝炎	手稲渓仁会病院 消化器内科 副部長 手稲渓仁会病院 薬剤部	辻 邦彦 天間雅美	H27/12/12(土)	50	サテライトキャンパス
フォローアップ 講座	4	糖尿病腎症	萬田記念病院 腎臓内科部長 萬田記念病院 薬剤部	名和伴恭 葛葉 守	H28/1/16(土)	50))) ·Tr>//\
	5	整形領域(痛み)	北海道整形外科記念病院 整形外科 診療部長 北海道整形外科記念病院 薬剤部 副主任	室田栄宏 渡辺浩彰	H28/2/6(土)	50	
	6	眼科	旭川医科大学 北海道薬科大学 准教授	未定 大滝康一	H28/3/5(土)	50	

٠

本学教員が北海道分析化学奨励賞を受賞

本学教員の三原義広助教(基礎薬学系・医薬化学分野)が、2014年度北海道分析化学奨励賞を受賞し、北海道大学フロンティア応用科学研究棟で開催された北海道支部2015年冬季研究発表会(1月27日、28日開催)において、授賞式および受賞講演会が行われました。

三原助教は、汚染された水環境の修復のために、吸着機構を駆使した種々の技術を開発してきており、受賞タイトルである「汚染物質の吸着後水面で回収可能な新規吸着材料の開発」という研究が高く評価され、今回の受賞に至りました。





平成26年度 薬学共用試験が終了

平成26年度薬学共用試験が終了し、4年生180名がCBT、OSCEの両方に合格しました。

■平成26年度薬学共用試験結果

	実施 日程	合格者数	合格基準
CBT	本 試 験:平成26年12月11、12日 追再試験:平成27年2月17日	180	正答率60%以上
OSCE	本 試 験:平成27年1月24、25日 追再試験:平成27年2月21日	184	細目評価70%以上 概略評価5以上
共用試験		180	



赴任のご挨拶

本年度4月1日付で生命科学分野に教員 として採用された前田伸司と申します。専 門は微生物学(細菌学)です。

私は、北海道大学薬学部製薬化学科を 卒業後、同大学院研究科で、細菌などの排 除に働く生体防御システムのひとつである ヒト補体系、特にC3転換酵素の分子集合 機構について研究を行い、大学院修士課程 および博士課程を終えました。その後、東 京都東村山市にある国立多摩研究所 (現国 立感染症研究所ハンセン病研究センター) に採用されました。この研究所では、遺伝 子組換え等に利用されている大腸菌とは異 なる人工培地では未だに培養できないハン セン病の原因菌や他の病原性抗酸菌に扱う ことになりました。この間に米国コロラド州 立大学に留学させていただき、日本と異な る環境での研究も経験しました。帰国後、 上司の異動に伴い、大阪市立大学大学院医 学研究科(細菌学分野)で4年半、教員とし て勤務し、大学での講義・実習に携わりま

した。その後、公益財団法人結核予防会結 核研究所に異動してからは、現在でも国内 において毎年約2万人の新患が発生し、2千 人が亡くなっている感染症である結核につ いて研究を開始しました。全国の病院や保 健所から依頼される結核菌の型別分析をレ ファレンス業務として行いながら、日本国内 で利用できる新しい迅速・簡便な結核菌型 別システムを確立し、地方衛生研究所等で の普及を図ってきました。複数の結核患者 が発見された場合、結核菌の型別分析は集 団感染の確認や否定のために非常に重要 な検査になります。集団感染事例(菌の遺 伝型が一致)の場合ならば、施設は厚生労 働省への届け出と公表の必要性が生じ、菌 が別パターンならば集団感染や院内感染等 を明確に否定することができます。

本学では、近年患者数が増加している非 結核性抗酸菌を研究対象として細胞壁合成 のメカニズムや病原性に関連する遺伝子の 同定等の研究を進めたいと考えています。 生命科学分野 教授 前田 伸司



結核菌をはじめとする抗酸菌は、細胞壁の 脂質成分が多く、長鎖脂肪酸が多く含まれ ることから構造解析が困難であることが知 られています。構造解析での共同研究な ど、ご指導・ご協力のほど、よろしくお願い します。



桂

赴任のご挨拶

本年度4月1日付で社会薬学系薬事学管 理分野の准教授に着任いたしました岸本 桂子と申します。私は京都府立大学農学部 農芸化学科を卒業、同大学院農学研究科 博士前期課程を修了した後、民間企業に勤 めておりましたが、薬剤師として社会に貢 献したいと思い立ち、2004年に共立薬科 大学に編入学しました。その後、慶應義塾 大学薬学部社会薬学講座において8年間、 助手および助教として勤めて参りました。ま た在職中、同大学院薬学研究科において 「インターネット上の医療消費者を対象とし た医薬品関連情報に関する研究」で博士号 (薬学)を取得いたしました。教員として大 学に勤務すると同時に、薬学部附属薬局に おいて、週に1日と少ない頻度ではあります が、薬剤師としても勤務して参りました。

主に、医薬品の消費者行動、医療メディアコミュニケーション、高齢者の薬物治療、薬局機能、教育(薬学教育、小中学校の児童に対する薬育、薬剤師を対象とした教育)の5つの領域について社会薬学的立場から研究を進めております。研究において印象深い出来事は、一般用医薬品のネット販売について制度が議論される以前から調査研究のテーマとしていたことから、厚生労働省におけるルールに関する検討委員会の資料として私の論文を使っていただけたことです。変わりゆく社会の動きを捉え、社会に貢献できる研究成果を出せるように邁進して参りたいと思います。

本学での授業は、薬学概論 II、薬事関連法制論、実習 VII、臨床薬学実習-薬剤師実務演習-、演習 IX (薬剤師による社会調査と

薬事学管理分野 准教授 岸本 桂子



データ解析)を担当いたします。薬剤師として社会に出てからも役立つような講義、実習となるように努めて参ります。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



赴任のご挨拶

平成27年4月1日付で薬学教育分野の講師として赴任いたしました村岡千種と申します。私は平成7年に名城大学薬学部を卒業し、東海地方にあります保険薬局に就職いたしました。薬局では、管理薬剤師や、研修担当部署、実務実習の指導薬剤師などを経験し、薬剤師が患者さんに関わるためには「薬に人を合わせる支援」ではなく、

「人に薬を合わせる支援」が必要であると 理解しました。それには患者さんの多様な 背景を理解した上で適切な服薬支援を行 うことが必要です。そのためのコミュニ ケーションについて、専門知識を得たいと 思い、平成23年に南山大学大学院人間文 化研究科に進学しました。大学院では、コ ミュニケーショントレーニングに不可欠な 体験学習や人間関係論、学習者が主体的 に学ぶことをサポートするための関わり方 (ファシリテーション)について学び、臨床 現場や模擬服薬説明の場で、保険薬局の 薬剤師がどのような視点で学習をしてお り、それが現場にどのように活用されてい るかについて研究をいたしました。同時 に、岐阜大学医学教育開発研究センター の技能補佐員として、医学教育の基礎を学 びながら、医学生の模擬患者参加型医療 面接や地域体験学習などの実習を担当し て参りました。

現在、私は、薬学生入門、早期体験実習、薬剤師実務体験実習、実務実習事前学習、実習VII、臨床コミュニケーション演習、臨床薬学実習を担当しております。いずれも、コミュニケーションや体験学習と密接に関連しております。これらの実習は1回きりで終わる実習ではなく、今後薬剤師として活動するための端緒となる実習です。これまでの経験を活かし、学生が人間関係を学びつづけることや多様な価値観を尊重す

薬学教育分野 講師 村岡 千種



ることの重要性を学習できるよう支援した いと考えております。

未熟な経歴ではございますが、本学の教育、研究に取り組む所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



平成27年度 学部入学試験結果

平成27年度の学部入学試験を予定通り実施しました。入試結果は、志願者1,270名、受験者1,231名、合格者408名でした。

新

規

継

続

科学研究費補助金

文部科学省および日本学術振興会から、平成27年度の科学研究費補助金の交付内定が通知されました。内定者および研究課題名は次のとおりです。

- ■若手研究(B) 薬理学分野 髙栗 郷 准教授
- 「骨格筋における糖代謝調節に関わるADAM17の制御機構と生理的意義の解明」
- ■若手研究(B) 薬剤学分野 戸上 紘平 講師
 - 「病巣の肺胞構造制御に基づく難治性呼吸器疾患治療DDSの創出」
- ■基盤研究(C) 地域医療薬学分野 柳本 ひとみ 講師
 - 「在宅医療における薬物療法モニタリング機能拡大に関する実証研究」

- ■基盤研究(C) 薬事管理学分野 櫻井 秀彦 教授
 - 「専門サービスの知覚品質と顧客満足ならびに従業員満足の影響構造に関する実証研究」
- ■若手研究(B) 薬剤学分野 丁野 純男 教授
- 「線溶機能を搭載した経気道投与型DDSを基盤とする肺腺維症治療の新発想」
- ■基盤研究(C) 臨床薬学分野 戸田 貴大 教授 「ARBs服用患者における血清中EETs濃度と心血管系イベント発症との関係」
- ■基盤研究(C) 地域医療薬学分野 古田 精一 教授
- 「慢性患者の服薬アドヒアランス尺度の構築と影響因子に関する実証研究」
- ■若手研究(B) 薬剤学分野 髙橋 夏子 講師
- 「抗腫瘍薬による自然免疫能の変動と栄養輸送担体との発現調節の関連性」
- ■若手研究(B) 生命科学分野 中田 章史 講師
- 「放射線汚染地域に生息する野生動物における体内被ばくと染色体異常による影響評価」



人事異動のお知らせ

◇教員

●採用(平成27年4月1日付)

教 授 前田伸司(基礎薬学系 生命科学分野)

教 授 三浦 淳(臨床薬学系 薬物治療学分野)

准教授 今井伸一(応用薬学系 薬理学分野)

准教授 岸本桂子(社会薬学系 薬事管理学分野)

講師 馬場暁子(基礎教育系自然科学分野)

講 師 村岡千種(薬学教育系 薬学教育分野)

●昇格(平成27年4月1日付)

教 授 今田愛也(臨床薬学系 臨床薬理学分野)

准教授 佐藤隆司(応用薬学系 薬剤学分野)

講師藤本哲也(薬学教育系薬学教育分野)

講師 守屋寛之(臨床薬学系 臨床薬剤学分野)

●系・分野変更(平成27年4月1日付)

教 授 島森美光(社会薬学系 地域医療薬学分野へ) 准教授 高梨香織(基礎薬学系 医薬化学分野へ)

●転出(平成27年4月1日付)

講 師 牧野高壮(北科大 未来デザイン学部准教授へ)

●退職(平成27年2月14日付)

教 授 高木英利(基礎教育系自然科学分野)

● 退職(平成27年3月31日付)

教 授 石突 諭(薬学教育系 薬学教育分野)

教 授 神 久聡(基礎教育系 人文社会·体育学分野)

教 授 高橋和彦(基礎教育系自然科学分野)

教授 三浦俊明(基礎教育系自然科学分野)

教 授 山田 惠(基礎教育系 人文社会·体育学分野)

◇職員

●採用(平成27年4月1日付)

教務課·主事 余湖伶子

●転入(平成27年4月1日付)

教務課・教務第一係長 西谷 強 (北科大・学術情報課図書係長から) 学生課・学生係長 金田昌幸 (北科大短大部・総務課総務係長から)

●転出(平成27年4月1日付)

総務課・主事 小野かおる (法人・財務部財務課主事へ)

総務課·主事 渋谷朋広

(法人・総務部教育研究推進課主事へ) 管理課・管理課長 猿田幹雄

(法人・財務部調達課長へ)

管理課·管理係長 井上弘昭 (法人·総務部管理課主事へ)

管理課・施設係長 石津 浩(法人・教育研究推進課地域連携係長へ)

管理課·主事 向田一雄 (法人·総務部管理課主事へ)

管理課·主事 鈴木祥子

(法人・財務部調達課主事へ)

教務課·教務係長 小林裕樹

(法人・人事部人事課人事第二係長へ)

教務課·学術情報係長 渡部俊也 (法人·総務部学術情報第一課情報第二係長へ)

教務課·主事 山田輝幸

(法人・総務部学術情報第一課主事へ)

教務課・主事 庄司さなえ

(法人・財務部財務課主事へ)

学生課·学生係長 長縄進一

(北科大・入試第一課入試係長へ)

学生課·主事 德永玲子

(北科大・学生課主事へ)

図書課·図書課長、

図書係長事務取扱 土橋幸恵

(法人・学術情報第二課長へ)

図書課・主事 石山真二 (北科大・教務課主事へ)

●退職(平成27年3月31日付)

図書課·契約職員 渡邊奈央



校務役職発令

平成27年度理事長発令の校務役職をお知らせします。

学長	遭迎泰裕
副学長	渡辺一弘(薬学科長兼任)
	猪爪信夫

	猪爪信夫	
薬学科	基礎薬学系主任	江川祥子
薬学科	応用薬学系主任	佐藤久美
薬学科	臨床薬学系主任	早川 達
薬学科	社会薬学系主任	櫻井秀彦
薬学科	薬学教育系主任	渡辺一弘
薬学科	基礎教育系主任	吉岡忠夫
大学院運営部	部長	猪爪信夫
教務部	部長	江川祥子
学生部	部長	丹保好子
就職部	部長	和田浩二
入試部	部長	戸田貴大
広報部	部長	佐藤久美
図書館	館長	黒澤菜穂子
薬用植物園	園長	和田浩二
実験動物センター	センター長	佐藤久美
RIセンター	センター長	伊藤慎二
中央機器センター	センター長	桜井光一
教育情報センター	センター長	島森美光
薬学教育研究センター	センター長	渡辺一弘
	_	

生涯学習センター センター長

早川 達

桂

年間行事予定

	6日(月)	入学宣誓式
		基礎学力試験(学部1年) 第1回実力テスト(学部4年:~8日)
	7日(火)	実務実習ガイダンス(学部6年)
		ガイダンス・健康診断・テキスト販売(~10日)
	8日(水)	新入生一泊オリエンテーション(学部1年:~9日)
	11日(土)	新入生講演会、新入生歓迎会
4 -		1期始講(学部1年)
4月	13日(月)	前期始講(学部2~6年、大学院)
	())	模擬試験(学部6年:~14日)
	15日(水)	模擬試験解説講義(学部6年)
	18日(土)	第1回就職相談会 薬学を学ぶための基礎学力養成講座(学部1年:~5月30日)※5/2を除く土曜日
		仮進級試験(学部6年:~24日)
	23日(木)	交通安全講習会
	27日(月)	桂青会役員委嘱状交付式
	1日(金)	開学記念日振替休日(開学記念日15日)
	11日(月)	実務実習1期(学部6年:~7月24日)
5月	15日(金)	薬系キャリア研究会[講演会](学部4~5年) 開学記念日
	18日(里)	実力試験(卒延:~19日)
	27日(水)	前期定期試験(学部5年:~29日)
		1期終講(学部1年)
	5日(金)	前期定期試験結果発表(学部5年)
	6日(土)	第2回実力テスト(学部4年)
	8日(月)	中間試験(学部2~3年:~9日)
6月	10日(水)	1 期定期試験(学部1年:~12日) 2 期始講(学部1年)
UA	15日(月)	実力試験(卒延:~16日)
	22日(月)	追試験実施予定期間(学部1年:~24日)
	23日(火)	臨床薬学実習、実務実習、就職ガイダンス、就職支援講座(学部5年)
	25日(木)	薬系キャリア研究会[講演会](学部4~5年)
	26日(金)	1期成績発表(学部1年)
	13日(月)	早期体験学習(学部1年:~17日)
	14日(火)	薬系キャリア研究会[講演会](学部4~5年) 前期終講(学部5年)
	21日(火)	仮進級試験(学部5年:~22日)
		前期終講(学部2~4年)
7月	24日(金)	実務実習1期終了(学部6年)
I A	27日(月)	前期追·再試験(学部5年:~28日)
	28日(火)	国試・演習IX・総合演習、就職ガイダンス、就職講演会(学部6年)
		就職講座(学部6年:28日午後~29日終日) 前期終講(学部6年)
	29日(水)	前期定期試験(学部2~4年:~8月4日)
	30日(木)	総合演習試験(卒延:~31日)
	1日(土)	第1回オープンキャンパス
	2日(日)	第2回オープンキャンパス
	4日(火)	前期成績発表(学部5年)
	5日(水)	臨床薬学実習(学部5年:~26日) 2期終講(学部1年)
	7日(金)	前期終講(大学院)
	\/	
		1期学位授与式(大学院)
	18日(火)	1 期学位授与式(大学院) 第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日)
8月		第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日) 前期定期試験結果発表(学部2年~4年)
8月	18日(火) 20日(木)	第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日) 前期定期試験結果発表(学部2年~4年) 仮進級試験(学部2~4年:~21日)
8月		第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日) 前期定期試験結果発表(学部2年~4年) 仮進級試験(学部2~4年:~21日) 前期追·再試験(学部2~3年:~31日)
8月	20日(木)	第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日) 前期定期試験結果発表(学部2年~4年) 仮進級試験(学部2~4年:~21日) 前期追·再試験(学部2~3年:~31日) 前期追·再試験(学部4年:~28日)
8月	20日(木)	第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日) 前期定期試験結果発表(学部2年~4年) 仮進級試験(学部2~4年:~21日) 前期追·再試験(学部2~3年:~31日)
8月	20日(木)	第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日) 前期定期試験結果発表(学部2年~4年) 仮進級試験(学部2~4年:~21日) 前期追·再試験(学部2~3年:~31日) 前期追·再試験(学部4年:~28日) 白衣授与式(学部5年)
8月	20日(木) 26日(水) 27日(木)	第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日) 前期定期試験結果発表(学部2年~4年) 仮進級試験(学部2~4年:~21日) 前期追·再試験(学部2~3年:~31日) 前期追·再試験(学部4年:~28日) 白衣授与式(学部5年) 後期始講(学部6年) 卒業発表(卒延) 後期始講(学部4年)
8月	20日(木) 26日(水) 27日(木) 28日(金) 31日(月)	第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日) 前期定期試験結果発表(学部2年~4年) 仮進級試験(学部2~4年:~21日) 前期追·再試験(学部2~3年:~31日) 前期追·再試験(学部4年:~28日) 白衣授与式(学部5年) 後期始講(学部6年) 卒業発表(卒延) 後期始講(学部4年) 第2回就職相談会(学部6年:~9月2日)※午後か6開催
8月	20日(木) 26日(水) 27日(木) 28日(金) 31日(月) 2日(水)	第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日) 前期定期試験結果発表(学部2年~4年) 仮進級試験(学部2~4年:~21日) 前期追・再試験(学部2~3年:~31日) 前期追・再試験(学部5年) 後期始講(学部6年) 卒業発表(卒延) 後期始講(学部6年) を業務表(卒延) 後期始講(学部4年) 第2回就職相談会(学部6年:~9月2日)※午後から開催 2期定期試験(学部1年:~4日)
8月	20日(木) 26日(水) 27日(木) 28日(金) 31日(月)	第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日) 前期定期試験結果発表(学部2年~4年) 仮進級試験(学部2~4年:~21日) 前期追・再試験(学部2~3年:~31日) 前期追・再試験(学部5年) 位充授与式(学部5年) 後期始講(学部6年) 卒業発表(卒延) 後期始講(学部4年) 第2回就職相談会(学部6年:~9月2日)※午後から開催 2期定期試験(学部4年:~4日) 体験CBT(学部4年:~4日)
8月	20日(木) 26日(水) 27日(木) 28日(金) 31日(月) 2日(水)	第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日) 前期定期試験結果発表(学部2年~4年) 仮進級試験(学部2~4年:~21日) 前期追・再試験(学部2~3年:~31日) 前期追・再試験(学部5年) 後期始講(学部6年) 卒業発表(卒延) 後期始講(学部6年) を業務表(卒延) 後期始講(学部4年) 第2回就職相談会(学部6年:~9月2日)※午後から開催 2期定期試験(学部1年:~4日)
8月	20日(木) 26日(水) 27日(木) 28日(金) 31日(月) 2日(水) 3日(木)	第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日) 前期定期試験結果発表(学部2年~4年) 仮進級試験(学部2~4年:~21日) 前期追・再試験(学部2~3年:~31日) 前期追・再試験(学部5年) 長期始講(学部6年) 卒業発表(卒延) 後期始講(学部4年:~9月2日)※午後から開催 2期定期試験(学部6年:~9月2日)※年後から開催 2期定期試験(学部4年:~4日) 体験CBT(学部4年:~4日) 後期始講(学部2~3年)
8月	20日(木) 26日(水) 27日(木) 28日(金) 31日(月) 2日(水) 3日(木) 7日(月)	第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日) 前期定期試験結果発表(学部2年~4年) 仮進級試験(学部2~4年:~21日) 前期追・再試験(学部2~3年:~31日) 前期追・再試験(学部5年) 後期始講(学部6年) 卒業発表(卒延) 後期始講(学部4年) 第2回就職相談会(学部6年:~9月2日)※午後から開催 2期定期試験(学部1年:~4日) 体験CBT(学部4年:~4日) 後期始講(学部2~3年) 実務実習Ⅱ期(学部5年:~11月20日) 卒業研究開始(学部5年) 前期成績発表(学部2~4年)
	20日(木) 26日(水) 27日(木) 28日(金) 31日(月) 2日(水) 3日(木) 7日(月)	第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日) 前期定期試験結果発表(学部2年~4年) 仮進級試験(学部2~4年:~21日) 前期追・再試験(学部2~3年:~31日) 前期追・再試験(学部4年:~28日) 白衣授与式(学部5年) 後期始講(学部6年) 卒業発表(卒延) 後期始講(学部4年) 第2回就職相談会(学部6年:~9月2日)※午後から開催 2期定期試験(学部1年:~4日) 体験CBT(学部4年:~4日) 後期始講(学部2~3年) 実務実習Ⅱ期(学部5年:~11月20日) 卒業研究開始(学部5年) 前期成績発表(学部2~4年) 前期成績発表(学部2~4年)
8月	20日(木) 26日(水) 27日(木) 28日(金) 31日(月) 2日(水) 3日(木) 7日(月) 8日(火) 10日(木)	第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日) 前期定期試験結果発表(学部2年~4年) 仮進級試験(学部2~4年:~21日) 前期追・再試験(学部2~3年:~31日) 前期追・再試験(学部8年:~28日) 白衣授与式(学部5年) 後期始講(学部6年) 卒業発表(卒延) 後期始講(学部4年) 第2回就職相談会(学部6年:~9月2日)※午後から開催 2期定期試験(学部4年:~4日) 体験CBT(学部4年:~4日) 後期始講(学部5年:~11月20日) 卒業研究開始(学部5年:~11月20日) 卒業研究開始(学部5年) 前期成績発表(学部6年:~11日) 卒業研究発表会(学部6年:~11日)
	20日(木) 26日(水) 27日(木) 28日(金) 31日(月) 2日(水) 3日(木) 7日(月)	第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日) 前期定期試験結果発表(学部2年~4年) 仮進級試験(学部2~4年:~21日) 前期追・再試験(学部2~3年:~31日) 前期追・再試験(学部5年) 位表授与式(学部5年) 後期始講(学部6年) 卒業発表(卒延) 後期始講(学部4年) 第2回就職相談会(学部6年:~9月2日)※午後から開催 2期定期試験(学部4年) 年2期定期試験(学部4年) 第2回就職相談会(学部6年:~4日) 体験CBT(学部4年:~4日) 後期始講(学部2~3年) 実務実習Ⅰ期(学部5年:~11月20日) 卒業研究開始(学部5年) 前期成績発表(学部6年:~11日) 卒業研究発表会(学部6年:~11日)
	20日(木) 26日(水) 27日(木) 28日(金) 31日(月) 2日(水) 3日(木) 7日(月) 8日(火) 10日(木)	第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日) 前期定期試験結果発表(学部2年~4年) 仮進級試験(学部2~4年:~21日) 前期追・再試験(学部2~3年:~31日) 前期追・再試験(学部8年:~28日) 白衣授与式(学部5年) 後期始講(学部6年) 卒業発表(卒延) 後期始講(学部4年) 第2回就職相談会(学部6年:~9月2日)※午後から開催 2期定期試験(学部4年:~4日) 体験CBT(学部4年:~4日) 後期始講(学部5年:~11月20日) 卒業研究開始(学部5年:~11月20日) 卒業研究開始(学部5年) 前期成績発表(学部6年:~11日) 卒業研究発表会(学部6年:~11日)
	20日(木) 26日(水) 27日(木) 28日(金) 31日(月) 2日(水) 3日(木) 7日(月) 8日(火) 10日(木) 11日(金)	第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日) 前期定期試験結果発表(学部2年~4年) 仮進級試験(学部2~4年:~21日) 前期追・再試験(学部2~3年:~31日) 前期追・再試験(学部5年) 後期始講(学部6年) 來業発表(卒延) 後期始講(学部6年) 第2回就職相談会(学部6年:~9月2日)※午後から開催 2期定期試験(学部4年:~4日) 体験CBT(学部4年:~4日) 後期始講(学部5年:~11月20日) 卒業研究開始(学部5年) 前期成績発表(学部6年:~11月20日) 卒業研究開始(学部5年) 前期成績発表(学部6年:~11日) 李業研究発表会(学部6年:~11日) 学位記授与式(卒延) 追試験実施予定期間(学部1年:~16日)
	20日(木) 26日(水) 27日(木) 28日(金) 31日(月) 2日(水) 3日(木) 7日(月) 8日(火) 10日(木) 11日(金)	第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日) 前期定期試験結果発表(学部2年~4年) 仮進級試験(学部2~4年:~21日) 前期追・再試験(学部2~3年:~31日) 前期追・再試験(学部5年) 後期始講(学部6年) 卒業発表(卒延) 後期始講(学部6年) 第2回就職相談会(学部6年:~9月2日)※午後か6開催 2期定期試験(学部1年:~4日) 体験CBT(学部4年:~4日) 後期始講(学部2~3年) 実務実習1期(学部5年:~11月20日) 卒業研究開始(学部6年:~11月20日) 卒業研究開始(学部6年:~11日) 卒業研究発表会(学部6年:~11日) 空業研究発表会(学部6年:~11日) 学位記授与式(卒延) 追試験実施予定期間(学部1年:~16日) 3期始講(学部1年) 後期始講(学部1年)
	20日(木) 26日(水) 27日(木) 28日(金) 31日(月) 2日(水) 3日(木) 7日(月) 8日(火) 10日(木) 11日(金)	第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日) 前期定期試験結果発表(学部2年~4年) 仮進級試験(学部2~4年:~21日) 前期追·再試験(学部2~3年:~31日) 前期追·再試験(学部5年) 後期始講(学部6年) 卒業発表(卒延) 後期始講(学部6年) 第2回就職相談会(学部6年:~9月2日)※午後か6開催 2期定期試験(学部1年:~4日) 体験CBT(学部4年:~4日) 後期始講(学部2~3年) 実務実習Ⅱ期(学部5年:~11月20日) 卒業研究開始(学部6年: 前期成績発表(学部2~4年) 前期成績発表(学部6年:~11日) 字性研究発表会(学部6年:~11日) 字性研究発表会(学部6年:~11日) 学は記授与式(卒延) 追試験実施予定期間(学部1年:~16日) 3期始講(学部1年) 後期始講(学部1年)
	20日(木) 26日(水) 27日(木) 28日(金) 31日(月) 2日(水) 3日(木) 7日(月) 8日(火) 10日(木) 11日(金) 14日(月)	第1回実力テスト(学部6年、卒延:~19日) 前期定期試験結果発表(学部2年~4年) 仮進級試験(学部2~4年:~21日) 前期追・再試験(学部2~3年:~31日) 前期追・再試験(学部5年) 後期始講(学部6年) 卒業発表(卒延) 後期始講(学部6年) 第2回就職相談会(学部6年:~9月2日)※午後か6開催 2期定期試験(学部1年:~4日) 体験CBT(学部4年:~4日) 後期始講(学部2~3年) 実務実習1期(学部5年:~11月20日) 卒業研究開始(学部6年:~11月20日) 卒業研究開始(学部6年:~11日) 卒業研究発表会(学部6年:~11日) 空業研究発表会(学部6年:~11日) 学位記授与式(卒延) 追試験実施予定期間(学部1年:~16日) 3期始講(学部1年) 後期始講(学部1年)

10月	13日(火) 17日(土) 19日(月)	第2回実力テスト(学部6年:~14日) 父母懇談会(地方:~18日)
IO月		父母懇談会(地方:~18日)
IO月		
	190(H)	体験学習(学部2~3年:~30日)
	24日(土)	父母懇談会(本学)
	28日(水)	後期終講(学部4年)
	4日(水)	後期定期試験(学部4年:~5日)
	5日(木)	薬学共用試験ガイダンス、就職に関する講演会(学部4年)
	6日(金)	3期終講(学部1年)
_	7日(土)	博士課程(1次)入学試験(大学院)
_	11日(水)	3期定期試験(学部1年:~13日)
	13日(金)	後期定期試験結果発表(学部4年)
	14日(土)	公募制·系列校·同窓生子女推薦、社会人入学試験(学部)
	15日(日)	指定校推薦入学試験(学部)
11月	(-)	4期始講(学部1年)
	16日(月)	中間試験(学部2~3年:~17日)
_	(-)	実務実習配属ガイダンス(学部4年)
_	20日(金)	実務実習 期終了(学部5年)
	24日(火)	追試験実施予定期間(学部1年:~26日)
		実務実習配属ガイダンス(学部5年)
	25日(水)	実務実習ガイダンス(学部5年)
	30日(月)	3期成績発表(学部1年)
	OOH (A)	総合演習 中間試験(学部6年:~12月1日)
	下旬	冬道安全運転講習会
	10日(木)	薬学共用試験CBT(学部4年:~11日)
	100(20)	就職ガイダンス、就職講演会(学部5年)
	11日(金)	OG・OBによる就職講演会(学部5年)
	12日(土)	冬季休業開始(学部1年、大学院)
12月	14日(月)	薬学生のための就職基礎講座(学部5年:~16日)
	16口(水)	科目別実力テスト(学部2~3年:~17日)
	16日(水)	薬学共用試験CBT合格通知(学部4年)
	17日(木)	実務実習事前学習(学部4年:~1月19日)
	18日(金)	冬季休業開始(学部2~3年)
	19日(土)	冬季休業開始(学部4~6年)
	4日(月)	実務実習Ⅲ期(学部5年:~3月23日)
	5日(火)	冬季休業明け始講(学部1~4・6年、大学院)
	155(0)	後期終講(学部6年)
	15日(金)	博士論文発表会(大学院)
	16日(土)	大学入試センター試験(~17日)
1月 ■	18日(月)	総合演習 定期試験(学部6年:~19日)
	23日(土)	薬学共用試験OSCE(学部4年:~24日)
	25日(月)	博士学位申請受付
	26日(火)	後期終講(学部2~3年)
	00=(0)	4期終講(学部1年)
	29日(金)	後期終講(大学院)
	1日(月)	一般入学試験前期A日程(学部)
	2日(火)	一般入学試験前期B日程(学部)
		4期定期試験(学部1年:~5日)
	3日(水)	後期定期試験(学部2~3年:~9日)
	10日(水)	総合演習II追·再試験(学部6年:~12日)
	15日(月)	博士課程(2次)入学試験(大学院)
	16日(火)	追試験実施予定期間(学部1年:~17日)
	17日(水)	薬学共用試験CBT追·再試験(学部4年)
		4期成績発表(学部1年)
2月	18日(木)	後期定期試験結果発表(学部2年~3年)
	19日(金)	卒業発表(学部6年)
	20日(土)	薬学共用試験OSCE追·再試験(学部4年)
	22日(月)	1~4期再試験(学部1年:~3月1日)
	23日(火)	後期追·再試験(学部2~3年:~26日)
	24日(水)	後期追·再試験(学部4年:~26日)
	25日(木)	学位審査結果発表(大学院)
	20H (/N)	薬剤師国家試験[予定](学部6年:~28日)
	27日(土)	一般入学試験後期日程(学部)
	6日(日)	海外語学研修(学部1~3年:~20日)
	9日(水)	学位記授与式
3月		
	11日(金) 23日(水)	進級発表(学部1~5年) 実務実習III期終了(学部5年)

医療の現場で働く薬剤師の仕事や役割を、 模擬講義や多彩な体験実習を通して知るう!

オープンキャンパスのご案内

8月1日

10:00~15:00(予定)

8月2日

10:00~15:00(予定)

10月4日



オープン キャンパス メニュー (予定) ◎オリエンテーション◎ウエルカムランチ◎ 樟擬講義(無料)

◎模擬講義

◎体験実習

◎入試相談

オープンキャンパス参加のお申し込み・お問い合わせ先

交通アクセス/JR「手稲」駅・地下鉄「宮の沢」駅から本学までの無料送迎バスを運行します。

平成28年度 学生募集要項(概要)

◎募集学部·学科/薬学部·薬学科(修業年限6年) ◎入学定員/210人

● 推薦入試

	公募制推薦	系列校推薦	[自己推薦] 同窓生子女推薦	指定校推薦	
募集人員	15人	30人	10人	50人	
出願期間	平	成27年10月30日(金	金)~11月6日(金)必	着	
試験日	平月	成27年11月14日(土	_)	平成27年 11月15日(日)	
試験地		札幌(本学)			
試験内容	高等学校の学習 成績、基礎学力 試験(数学、外国 語、理科)、面接 (グループ)	書類審査、 面接(グループ)	高等学校の学習 成績、基礎学力 確認(理科)、面 接(個人)	書類審査、面接 (グループ:基礎 的な科学の知 識含む)	

● 一般入試

	前期	-	後期
	A日程	B日程	IX 761
募集人員	70人		5人
出願期間	平成28年 ~1月22	1月6日(水) 日(金)必着	平成28年2月12日(金) ~2月19日(金)必着
試験日	平成28年 2月1日(月)	平成28年 2月2日(火)	平成28年2月27日(土)
試験地		(本学)、 ※2 8、秋田、仙台、東京	札幌(本学)
試験内容		数学、外国	国語、理科

● 社会人入試

募集人員	3人
出願期間	平成27年10月30日(金)~11月6日(金)必着
試験日	平成27年11月14日(土)
試験地	札幌(本学)
試験内容	基礎学力試験(数学、外国語、理科)、面接(個人)

● 大学入試センター試験利用入試

	前 期	後期
募集人員	24人	3人
出願期間	平成28年1月6日(水) ~1月28日(木)必着	平成28年2月12日(金) ~2月25日(木)必着
試験日・試験地	本学独自の試験は実施しません。	
試験内容	数学、外国	語、理科

※1 一般入試前期のA日程·B日程の両日受験も可能です。試験科目の詳細な範囲は学生募集要項を参照してください。 ※2 試験地は変更になる場合があります。

本学に関するよりくわしい情報は、ホームページでご覧ください。 http://www.hokuyakudai.ac.jp/

○北海道薬科大学のお役立ち情報や最新ニュースをお届けします!!



北海道薬科大学LINE@

ID @hokuyakudai

QRコードで 簡単アクセス▶





●ホームページからアドレスをご登録ください。(パソコン・スマホともOK)

http://www.hokuyakudai.ac.jp/





〒006-8590 北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4-1 TEL: 011-688-7187 FAX: 011-681-3622 HP: www.hokuyakudai.ac.jp

企画編集·発行: 北海道薬科大学 広報部

+Professional

ヒューマニティ、コミュニケーション能力、問題発見・解決能力、マネジメント能力といった基盤能力を基に、専門性を身につけている人材が社会に求められています。したがって、単に「Professional」だけではなく、後付けの「Professional」でもない、基盤能力を前提とする「+Professional」を育成する。すべての設置校に共通する、わたしたちのスローガンです。

默北海道科学大学 北海道科学大学短期大学部 北海道科学大学短期大学部 北海道薬科大学附属薬局 北海道尚志学園高等学校 北海道自動車学校



北薬大情報

北海道薬科大学広報部

2015.10.2

vol. 124



赴任のご挨拶(三浦淳教授) ●赴任のご挨拶(今井伸一准教授) ●赴任のご挨拶(馬場暁子講師)

名誉教授の称号授与式を行いました。本学教員が日本社会薬学会SP賞を受賞しました。前期授業アンケート結果について

中田講師が15th International Congress of Radiation Research (ICRR2015)においてポスター賞を受賞しました

平成28年度 学生募集要項(概要) 各地の基幹病院に聞く「市立稚内病院」 "顔が見える医療、を実践できる環境



1 第1・2回オープンキャンパスでの体験実習

2 父母後援会定期総会での見学ツアー

3 北薬会懇親会のようす 4 卒業研究発表会のようす

前田キャンパスに移転して

本学の校舎が桂岡から手稲前田に移 転して、半年が過ぎようとしています。桂 岡の校舎が建てられたのは、1974(昭和 49)年。それから40数年間、様々な歴史 を刻んできたことでしょう。私も、友人達 と講義を受け、談笑した講義室や赤レン ガの壁を懐かしく感じます。最も印象に 残っているのは、ラウンジから石狩湾を 望む景色です。見渡す限りどこまでも続く 広く青い海、地平線から沈む夕日は試験 勉強の疲れをいつも癒してくれました。桂 岡の校舎での思い出は数え切れないほど あります。

私は、学部6年間と大学院2年間を旧 校舎があった桂岡で過ごしました。桂岡 で過ごした8年間は、私の人生の糧となっ ています。学部生のときには桂青会委員 長や大学祭実行委員長として、他のメン バーとともに開催に向けて一致団結し て、支え合って無事に開催できました。ま た、同窓生の先輩たちと接することも多 く、そこから広がった縁は今もつながって おり、これからも大切にしていきたいと 思っています。そして、勉強だけではなく 様々なことをご教授いただき、多くのこと を経験できました。諸先輩たちと同じ学

び舎で学び、同じ時間を共有できたこと は私の人生の財産となっています。そん ななかで、まさか在学中に大学が移転す るとは思ってもいませんでした。移転する と知ったときには、実感はありませんでし たが、研究室やゼミ室の荷造りをするに つれて、新校舎への期待感と桂岡の校舎 を離れる寂しさが入り混じりつつ、どちら も増していきました。

新校舎のある手稲前田キャンパスから は石狩湾の海の青ではなく、手稲連峰の 緑と空の青が見え、とても綺麗な景色と なっています。きっと、この青と緑のコン トラストが手稲前田キャンパスでの新し い思い出の背景となっていくのでしょう。 移転した当初は、新築の綺麗な校舎に落 ち着かず、迷子になることもありました。 新校舎には食堂やローソン、丸善(書店)、 ATMなどの施設も充実しており、快適に 過ごしています。

本学は手稲前田に移転し、新たな歴史 の1ページを刻みました。その瞬間を他 の在学生の皆とともに見ることができ、誇 りに思います。本学と隣接している北海 道科学大学には、看護学科や理学療法学 科などの保健医療学部があるので、同じ





桂岡キャンパスから見渡す石狩湾

チーム医療を担う者として様々な交流を していきたいと思います。

科学大の皆さん、引っ越してきました。 よろしくお願いします。

前田キャンパスに薬科大学を迎えて 北海道科学大学 保健医療学部 理学療法学科 2年 武田 雄太

平成27年度より薬科大が手稲前田キャ ンパスに移転し、学生数が総勢5,000人を 超えるキャンパスとなりました。薬科大の移 転に先駆けて、手稲前田キャンパスでは建 設工事が行われ、新たにA・B棟が建てら れ、食堂も1店舗増えました。科学大学生と 薬科大学生が共同で用いている構内施設 が多くあるので、他大学の学生と顔を合わ せる機会が多くなり、今までよりさらに多く の分野での交流の幅が広がったと思いま す。また、現状では学生数の急激な増加に より構内のコンビニや駐輪場、バス停など が混雑しているのをよく目にしますが、今後 は新設の医療系3学科の新入生も加わり、 さらに学生数が増える予定なので、より便 利なキャンパスライフのための改善策も興

味深いです。

私は理学療法学科に在籍しているので、 薬科大学のキャンパス移転により他分野と の交流の幅が広がることについて、私自身 がとても期待しています。科学大学は「時代 の要請に即したプロフェッショナル教育」を 教育理念のひとつに掲げていますが、現在 の医療では「チーム医療」に参加できる医 療人となることが大切です。薬科大のキャ ンパス移転は私にとって、「チーム医療」へ の理解を学生のうちにさらに深めるチャン スを与えてくれると思います。私は、医療者 として広い知識を身につけるだけでなく、 様々な分野に興味関心を持ち、専門とする 人との交流を深め、多くの知識を兼ね備え た人間になりたいので、それを実現するた



めにも、薬科大生との交流を深めていきた い所存です。大学生活のなかで、学校行事 や部活動などを通して益々の交流のきっか けをつくっていきたいです。

薬科大の皆さん、手稲前田キャンパスに ようこそ。

| 桂岡キャンパス第一校舎等解体および 改修工事にともなう安全祈願祭を執り行いました

6月12日(金)、北海道薬科大学桂岡キャンパス第一校舎にて桂岡キャンパス建物解体および改修工事にともなう安全祈願祭を執り行いました。

この工事は、前田キャンパス移転にともない老朽化した桂岡キャンパス第一校舎等を解体するために行うものです。工事終了は平成28年2月を予定しています。

安全祈願祭では、本学学長をはじめ大学 関係者および工事関係者が出席し、工事の 安全を祈って神事が行われました。







【障がい者支援局】

解体される桂岡キャンパス第一校舎

-

桂青会役員委嘱状交付式を挙行

【大学祭企画局】

4月27日(月)17時30分より、A210講義室にて平成27年度桂青会役員委嘱状交付式を挙行しました。式に引き続き、HITプラザで開催した懇親会では、学生部長、学生部員と新旧桂青会役員が、これからの桂青会活動のあり方について積極的な意見交換を行いました。今年度の桂青会役員は次のとおりです。

委員長

山﨑博章(4年)



XXX	田崎は井(ユー)	【八丁水正四间】	17771401	[[年/J V··日文]及问】
副委員長	東 敬太(4年)	局長 米田智哉(4年)	局長 藤本泰輔(4年)	局長 藤田陽平(4年)
	菅野諒太(3年)	副局長 近藤良磨(4年)	副局長 近藤 績(3年)	副局長 黒瀧一茂(2年)
書記	神田美咲(4年)	会計 長澤莉奈(2年)	会計 外舘竜祐(2年)	会計 池田麻由子(3年)
	山本晟蓮(1年)			
会計	丹野美咲(4年)	【体育大会企画局】	【地域連携局】	【薬物乱用防止局】
会計	丹野美咲(4年) 五十嵐彩香(4年)	【 体育大会企画局】 局長 吉田 壘(4年)	【 地域連携局】 局長 久保田将生(4年)	【薬物乱用防止局】 局長 千村太一(4年)
会計 監査	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			27/4 110 1101 1101 110 110 110 110 110 110
	五十嵐彩香(4年)	局長 吉田 壘(4年)	局長 久保田将生(4年)	局長 千村太一(4年)

【クラブ局】

本学大学院研究奨励生、学校法人北海道科学大学奨学生、 本学奨学生が決定

平成27年度の本学の各奨学生が決定 し、5月15日(金)に証書授与式を行いま した。

大学院博士課程に在籍する5名と修士課程に在籍する1名には、研究奨励金としてそれぞれ45万円を給付しました。学部におい

ては、前年度に優秀な成績を収めた2~6年 生各4名ずつに対し学校法人北海道科学大 学奨学生としてそれぞれ24万円、各10名 ずつに対し本学奨学生としてそれぞれ12万 円を給付しました。なお、学部1年生の奨学 生は10月頃に決定する予定です。



奨学生証書授与のようす



白衣授与式を挙行

8月27日(木)、共用講義棟(A棟)にて白衣授与式を挙行しました。白衣授与式は、これから病院・薬局での各11週間にわたる実務実習に臨む5年生に対して、医療人としての意識を高め、医療現場に入る自覚を持ってもらうことを目的として行っています。

授与式では、初めに各分野の責任者の教員から学生に対し白衣が授与されました。続いて、渡辺学長からの告辞の後、北海道地区調整機構副委員長、北海道薬剤師会副会

長竹内伸仁様、北海道病院薬剤師会副会長中田浩雅様、北海道薬科大学模擬患者の会を代表して成田眞五郎様よりご祝辞を頂きました。5年生179名を代表して三浦彩華さんが宣誓を行い、桂青会委員長の山﨑博章さんから三浦さんに花束が贈られました。

実務実習では、学生たちが気持ちも新たに現場の多くのことを学習し、今後の地域医療に貢献できる薬剤師へと成長してくれることを期待します。



白衣授与のようす

卒業研究発表会を開催

9月10日(木)、11日(金)に、B棟2階において、6年生による卒業研究発表会を開催しました。発表は、90分間の示説時間を含むポスター形式で行いました。6年生たちは、5年次から取り組んできた卒業研究の成果を

教員、院生、学部学生に対して、少し緊張した面持ちながらも熱心に発表していました。 今年も、教員のみならず、多くの学生が参加し、卒業研究発表会は盛会のうちに終了しました。



ポスターの前で説明をおこなう学生



桂

体育祭報告

6月20日(土)、手稲前田キャンパスのグラウンドおよび体育館を会場に開催された、北海道科学大学体育祭実行委員会主催の体育祭に、本学の学生も参加しました。当日は残念ながら晴天のなかでの開会式とはならず、その先の天気が心配されましたが、無事、天候の悪化もなく、すべての競技を終えることができました。

サッカー、ソフトボール、バレー、ミニバレー、バスケットボール、スポーツチャンバラのすべての競技において薬大からの参加者がおり、応援にかけつけてくれた学生も多くいました。競技内容が見どころ満載だったのはもちろんですが、競技参加者のなかにはチームごとにTシャツを揃えたり、着こなし方を揃えたりして工夫しているチームがあり、見ていて一体感が感じられました。

私はミニバレーに参加しました。一緒に

参加してくれたのは同じ部活動の仲間です。当日に向けて、手稲体育館や小学校の体育館で一般の方々に混ぜてもらい、練習しました。一般の方々の練習は思った以上にハードで、毎回汗だくになりながら練習していました。前日になってTシャツを揃えようという話になり、練習後にユニクロでTシャツを購入し、その後、食事を兼ねてプチ決起集会をしたのもまた一つの思い出です。当日は、最初は調子が上がらず焦る場面もあり、心配でしたが、徐々に調子も上がり、順調に勝ち進んで、優勝することができました。

どの競技も白熱した試合が多く、見応えがあり、選手・観客ともに盛り上がっていました。多くの競技で薬大からの入賞があり、たくさんの薬大生の活躍が見られました。参加者のみなさん、お疲れ様でした。



ソフトボール

桂青会体育大会企画局 2年 谷川 夢

私はスタッフではありましたが、校舎が 手稲に移転したため、今回は体育祭の企画 の段階からは参加できず、少ないお手伝い しかできませんでした。今後、北科大・短期 大学部との交流を今以上に図り、来年の開 催に向け準備を進めていく予定です。来年 の体育祭では、お手伝いではなく企画・運 営にしっかり携わり、また今年とは違ったよ り良い体育祭を作り上げていこうと思って います。今年以上の参加人数と大会の盛り 上がりを期待しています。



ミニバレー



サッカー

北薬会(本学同窓会)より 絵画が寄贈されました

バスケットボール

北薬会(本学同窓会)から、本学の手稲 前田キャンパスへの移転にともない記念 品を寄贈したいとのご厚情がありました。

寄贈品は100号の大きな絵画で、長年にわたり本学桂岡キャンパスの薬用植物 園を題材とした作品を数多く手がけられ

た小樽市在住の画家・横山文代さんの作品です。

絵画は、教育・研究にも利用している薬 用植物園の風景画であることから、知の象 徴である図書学習室(B棟2階B210室)に 展示しています。



北薬会第38回定期総会・懇親会が開催

6月13日(土)、札幌全日空ホテルにおいて北薬会第38回定期総会が開催され、平成26年度活動報告・決算報告、平成27年度活動予定・予算案が承認されました。役員改選については、唐澤会長が再任され、3期目を

務めることとなりました。

定期総会終了後、懇親会が開催されました。懇親会は各支部長や同窓生、本学からは渡辺学長はじめ本学教職員を交えて、約60名の賑やかな会となりました。



唐澤会長による挨拶





父母後援会定期総会を開催

7月25日(土)、本学A106講義室において父母、教職員含め89名の出席者のもと、平成27年度北海道薬科大学父母後援会の定期総会を開催しました。提出された議案については、審議の結果、すべて原案のとおりに承認されました。

また、今年度は父母の皆様に新校舎での学生生活をイメージしてもらうために父母後援会主催の手稲前田キャンパス見学会、ランチバイキングを開催しました。両企画には280

名を超える父母が参加しました。特に、引率担当の学生から施設説明が受けられる手稲前田キャンパス見学ツアーでは、参加者から「子



定期総会のようす

供が学んでいる様子を思い浮かべることができた」との声もいただき、盛況のうちに終了しました。



見学ツアーのようす

政令指定都市薬剤師会 「薬物乱用防止キャンペーン」にボランティアとして参加

7月18日(土)に札幌円山動物園において 開催された政令指定都市薬剤師会プロデュース「第3回 薬物乱用防止キャンペーン"ひとつ の命を大切に"inさっぽろ」に、26名の学生がボランティアとして参加しました。

薬物乱用防止キャンペーンは危険ドラッグ の恐ろしさや医薬品の正しい使い方などを 知ってもらうことを目的としたイベントで、本学の学生たちは薬剤師会の会員と北海道医療大学の学生ともに、足を運んでいただいた方への意識調査(アンケート)を中心に、お手伝いをしました。今後もこのような活動に積極的に参加していきます。



グループディスカッション・グループ面接対策講座を開催

7月28日(火)・29日(水)の2日間、5・6年生を対象に外部の講師を招き、グループディスカッション・グループ面接対策講座を開催しました。

講座の参加者は、1日目に面接試験のポイントや自己PR、志望動機のまとめ方について

学び、2日目には少人数のグループに分かれて本番形式のグループ面接を体験しました。

講師から自分の弱点についてフィードバックを受けることにより、自らの課題を見つけ、 就職活動の本番に向けての対策を学び、大い に役立ったようです。



面接対策のようす



手稲前田キャンパス3大学施設見学会を行いました

7月9日(木)、北海道内の高校教員を対象に「手稲前田キャンパス3大学施設見学会」を行い、30名の教員の皆さんにご参加いただきました。今年4月に学校法人北海道科学大学の設置校である北海道薬科大学と北海道科学大学短期大学部が手稲前田キャンパスへ移転し、施設・設備を拡充させ、一層の教育環境の充実を図っていることを周知するための企画です。

はじめに北海道科学大学・苫米地学長お

よび北海道薬科大学・渡辺学長から挨拶の 後、北海道科学大学の高島副学長より手稲 前田キャンパスの今後の構想について説明 がありました。

その後、各大学・短期大学部の学部・学科紹介やキャンパス施設等の説明、学内施設見学を行い、見学した教員の皆さんからは多くの質問がありました。施設見学終了後にはHITプラザ2階にて個別面談を行いました。



個別面談のようす





8月1日(土)・2日(日)の2日間、第1・2回 オープンキャンパスを開催しました。両日と も晴天に恵まれ、会場は多くの高校生や保 護者の参加で賑わいました。

学長挨拶、大学紹介に続き、自由選択制 の模擬講義を行いました。その後、注射器や 乳鉢を使って注射剤などの薬剤を混ぜ合せ て作る「軟膏剤」、体内で起こる科学現象を



体験実習(バイタルサイン測定)

身近なものを使用してわかりやすく学ぶ「科 学実験」、医療現場でのシミュレーショント レーニングに用いるフィジカルアセスメント 人形(フィジコさん)を使い、呼吸音・瞳孔な どの測定を行う「バイタルサイン測定」など、 6つの体験実習を行いました。在学生から学 生生活を気軽に聞くことができるトーク コーナーでは、入学してみなければわからな



体験実習(軟膏剤)

いキャンパスライフの話を参加者は興味深 く聞いていました。

新校舎で行う初のオープンキャンパス とあってか施設見学ツアーにも多くの方々 にご参加いただき、いずれの企画も盛況の うちに終了しました。各企画を通して本学 および薬学をより身近に感じていただけま



体験実習(無菌調剤)

天使大学との連携公開講座で本学教員が講演

天使大学·北海道薬科大学連携公開講座 「いのちみつめて」を、8月20日から9月17 日の毎週木曜日に天使大学で開催し、本学 教員2名がそれぞれ8月27日と9月17日に 講演しました。

8月20日は臨床薬理学分野の今田愛也教 授が「病気と知っておきたい薬の知識」と題 して、肺がんの治療に用いられる分子標的抗 がん薬や、がんの痛みに用いる医療用麻薬 について、実際に医療現場で働く薬剤師とし ての臨床系教員の立場から解説しました。



9月17日は薬剤学分野の佐藤隆司准教 授が「くすりと食品の相互作用一よい面・ 悪い面一」と題して、近年によく見られるよ うになった健康食品・サプリメントの利用



佐藤隆司准教授の講演

背景や、それらの薬との飲み合わせの危険 性および注意点について解説しました。

受講者からは、終了時間を過ぎるほどの 多くの質問がありました。

夕張市で3大学6学科合同体験学習 「多学部生と学ぶ!実践 地域医療」を実施

北海道薬科大学の薬学科、北海道科学 大学の看護学科、理学療法学科、医療福祉 工学科および天使大学の看護学科、栄養学 科の3大学・計6学科での合同体験学習「多 学部生と学ぶ! 実践 地域医療」を9月2日 (水)から9月4日(金)までの3日間、合宿施 設に泊まり込み、本学の連携協定施設であ る夕張医療センター(八田政浩理事長)で実 施しました。

昨年まで行っていた北海道薬科大学と天 使大学の合同体験学習に、今年からは北海 道科学大学が加わり、参加学生は、アルゼン

チンからの研究生も含め、昨年の12名から 28名へと大幅に増加しました。学習内容 も、医師の訪問診療、看護師の訪問看護、栄 養士の食事指導、薬剤師の訪問薬剤管理指 導の業務体験に加え、作業療法士の業務体 験や臨床工学技士の業務も学びました。学 生の指導は北海道薬科大学の坂東勉准教 授、伊東佳美講師が担当しました。

参加した学生たちは、高齢化の著しい夕 張市で多学科での合同体験学習を行うこと により、北海道の地域医療の現状への理解 を深めつつ、多職種連携の重要性を体験



夕張市での体験学習のようす

し、多職種のなかでの自らの役割や責任を 明確に意識していました。



赴任のご挨拶

本年度4月1日付けで薬物治療学分野の 教授として赴任しました三浦淳と申します。

私は平成6年に北海道大学医学部を卒 業し、同精神医学講座に入局しました。4 年間の病院勤務の後、平成10年、北海道 大学大学院医学研究科精神医学分野に 入学しました。大学院での研究テーマは、 「抗うつ薬のラット脳ドパミン受容体発現 に対する影響」で、分子生物学的研究に従 事しました。平成14年に博士(医学)の学 位を取得しましたが、大学院在籍中より、 「臨床に役立つ研究をしたい」と思い始め ました。

平成15年、臨床薬理研究が活発であっ た、弘前大学医学部神経精神医学講座に異 動しました。平成16年からスウェーデンのカ ロリンスカ研究所フッディンゲ病院臨床薬 理研究室に1年6カ月間留学し、ライフ・ベル テイルソン(Leif Bertilsson)教授の指導を 受けました。留学中は、キニン、アルプラゾラ ム、ペルフェナジンに関するPK/PD研究、 CYP3A酵素活性の性差・人種差に関する 研究などに携わりました。平成17年に帰国 し、弘前大学医学部神経精神医学講座、同 臨床薬理学講座に勤務しましたが、その間

は、選択的セロトニン再取り込み阻害薬の副 作用と薬物代謝酵素遺伝子多型との関連性 を調査していました。

平成21年、室蘭工業大学保健管理セン ターに准教授として勤務しました。精神科 医として学生相談に従事するかたわら、昭 和薬科大学薬物動態学研究室の山崎浩史 教授と共同で、抗うつ薬ミルタザピンに関 する薬物動態研究を立ち上げました。この ように、薬学研究と臨床医療を結びつける のが私のライフワークであると思うに至り ました。

私が担当する教科は、病態生理学、薬物 治療学I、臨床薬理学、臨床薬学総論、卒業 研究と、演習・実習などです。医師の視点 で、病気についてわかりやすく説明するとと もに、臨床薬理学の専門家として、エビデン スに基づいた薬物療法を教えて参ります。 研究については、精神科に限定せず、薬物 反応性に影響する遺伝子多型研究を立ち 上げたいと計画中です。そして、研究成果を 臨床の場に還元し、医療水準の向上に努め たいと考えております。皆様のご指導、ご鞭 撻、ならびに臨床研究へのご協力、どうぞよ ろしくお願い申し上げます。



赴任のご挨拶

本年度4月1日付けで応用薬学系薬理 学分野に着任しました今井伸一と申しま す。講義や実習は薬理学を中心に担当して います。

私は北海道大学薬学部薬学科を卒業し た後、同大学大学院薬学研究科に進学しま した。修士課程を修了し、博士後期課程に進 みましたが、1年の途中で退学して、札幌医 科大学の生化学の研究室に助手として採用 されました。学生時代は薬理学の研究室に 所属して、受容体の性質についての研究を していました。札幌医科大学に採用されてか らは、脂質代謝酵素に関する研究を約20年 間行ってきました。この間に脂質代謝酵素に 関する研究で博士(医学)の学位を取得しま した。所属した研究室の専門は生化学でし たので、講義では遺伝子工学関係を、実習で はタンパク質の精製などを担当していまし た。また、教授が遺伝子工学をいち早く取り 入れて研究を進めていましたので、様々な キットが発売されたり、消耗品が安くなった りと遺伝子工学が特別なものではなくなる のを身近に体験しました。脂質は扱いが難し いため、採用当初はまだまだ研究者は少な かったのですが、今では研究者数も増え、内 容も多岐に渡ってきました。

そして、約6年前に札幌医科大学の附属 施設の研究室に移りました。新しい研究室 では質量分析装置を用いた疾患関連タンパ ク質の同定を行っていました。私が移る前と 後でそれぞれ複数の疾患関連タンパク質の 同定に成功しましたが、私自身は同定そのも のよりも同定されたタンパク質の研究に従 事し、教員としては札幌医科大学保健医療 学部の看護学科で代謝や栄養に関する講 義を行っていました。また、教授が留萌での コホート研究を行っていたことから、その関 係で、私も年に数回、留萌で子供達を対象に した「子ども実験室」を行っていました。

約25年間、医学部に勤務し、今回薬学部 に戻ってまいりましたが、その間の薬学教 育の進歩に正直驚いております。今後とも ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいた します。

薬理学分野 准教授 今井 伸一



馬場 暁子

桂

赴任のご挨拶

本年度4月1日付けで自然科学分野の講師として赴任いたしました馬場暁子と申します。私は平成15年3月に本学を卒業した26期生です。学部卒業後は本学大学院に進学し、主に異物の毒性発現に関わる代謝活性化を研究する衛生学特論研究室にて、吉岡忠夫教授のご指導のもとカルボン酸系医薬品の活性代謝物であるアシルグルクロニドの酵素を用いた簡易化学合成法の開発やアシルグルクロニドの親電子的反応性に関する構造活性相関について研究を行いました。

博士号取得後、平成20年4月より7年間、石狩市にラボを有する、医薬品の開発支援および品質保証に関する受託試験機関である株式会社応用医学研究所の信頼性保証部にて、主にデータの完全性・網羅性を保証するための監査業務に従事し、また、業務組織の内部監査である自己点検の責任者を5年間務めました。これらの業務を通して、記録の重要性やコンプライアンス遵守について身に付けてまいりました。

本年度は、無機化学、薬学計算I、薬学計算I、薬学計算II、薬学基礎実習I、実習IIを担当いたします。すでに4月より講義がスタートしてお

りますが、私は薬学部に入って間もない1年 生に対する科目の担当が主ですので、これ から6年間の薬学教育における基礎を楽し んで学習してもらえるよう、毎回試行錯誤 の日々です。

私が大学生であった頃と比べると、薬学教育、薬剤師国家試験は大きく変わりました。6年制となり、臨床科目および実務実習の内容が拡充され、より総合的・統合的な応用力が求められています。自らの意思で薬剤師となる進路を選択した学生の皆さんが本学での学びの場を最大限に活用し、積極的に我々教員の知識やノウハウを吸収して社会に認められる薬剤師になれるように、基礎教育系の教員として支えていきたいと考えております。

実験研究からはしばらく遠ざかっておりましたが、今後は卒業研究の学生指導を通して教育と自らの研究を両立させていく所存です。

大学教員としては未熟ですが、母校である北海道薬科大学のさらなる発展に貢献できるように全力で取り組んで参ります。今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



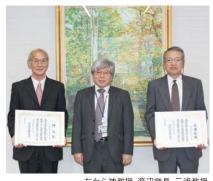
自然科学分野 講師

名誉教授の称号授与式を行いました

6月30日(火)、学長室において本学名誉 教授の称号授与式を行いました。

本年3月をもって定年退職した、神久聡教

授(人文社会・体育学分野)と三浦俊明教授 (自然科学分野)の長年の功績に対して、称 号を授与しました。



左から神教授、渡辺学長、三浦教授

本学教員が日本社会薬学会SP賞を受賞しました

本学教員の岸本准教授(社会薬学系・薬事管理分野)が、日本社会薬学会第34年会(7月25日(土)・26日(日)、熊本にて開催)において、「一般用医薬品テレビCMの物語構造と内包するメッセージに関する質的研究」のタイトルで日本社会薬学会SP賞を受賞しました。これまでの薬学領域において報告例のない内容で、社会薬学分野における優れた研究であると評価されました。

また今年度は3演題がSP賞に選ばれ、他 2演題(「一般用医薬品販売サイトにおける 使用者の健康状態確認画面のユーザビリ ティ測定」、「中学生に対する『薬教育』の在 り方と多職種からの視点~医薬品の適正使 用教育と薬物乱用防止教育の関連性~」) も、岸本准教授と慶應義塾大学の共同研究 であり、受賞3演題すべてに関わるという快 挙を成し遂げました。



受賞した岸本准教授(写真中央)





前期授業アンケート結果について

平成27年度前期授業アンケート結果がまとまりました。今回から実施方法をWeb回答からマークシート回答に変更し、質問・評価項目を増やしました。平均、最大、最少は各質問項目に対して「強くそう思う」、「そう思う」、「どちらとも言えない」、「そうは思わない」、「全くそうは思わない」をそれぞれ5点、4点、3点、2点、1点として集計した結果です。詳細は本学ホームページの学内専用ページに掲載しています。

この結果は科目担当教員にフィードバックすることで授業改善等に有効活用しています。

		全くそうは 思わない (%)	そうは 思わない (%)	どちらとも いえない (%)	そう思う (%)	強く そう思う (%)	平均	最大値	最小値
	問〕 教員の説明・指示は明確であった。	3.70	8.35	22.68	44.79	20.48	3.68	4.62	2.18
	問2 教員の話し方は聞き取りやすかった。	3.70	9.50	21.62	40.08	25.11	3.69	4.74	1.75
	問3 資料はわかりやすかった。	4.20	10.28	26.65	40.34	18.53	3.60	4.45	2.40
1年	問4 教員は学生が授業に集中できる雰囲気作りに配慮していた。	3.81	9.11	26.24	38.38	22.46	3.66	4.55	2.26
	問5 教員に授業の質を高めようとする姿勢がみられた。	3.88	7.38	26.02	39.24	23.49	3.71	4.55	2.61
	問6 私はこの授業内容を理解できた。	4.05	10.67	28.70	42.00	14.58	3.47	4.43	2.09
	問7 私はこの授業から新たな興味や問題意識を持つことができた。	6.59	13.18	33.65	32.41	14.17	3.35	4.59	1.93
	問l 教員の説明・指示は明確であった。	2.17	5.04	20.80	54.14	17.85	3.80	4.40	3.30
	問2 教員の話し方は聞き取りやすかった。	1.93	6.73	19.69	48.64	23.00	3.83	4.35	3.44
	問3 資料はわかりやすかった。	2.32	7.33	27.27	46.38	16.71	3.67	4.44	3.11
2年	問4 教員は学生が授業に集中できる雰囲気作りに配慮していた。	1.81	5.05	25.40	48.36	19.37	3.77	4.34	3.36
	問5 教員に授業の質を高めようとする姿勢がみられた。	2.01	4.57	22.66	50.28	20.49	3.81	4.33	3.40
	問6 私はこの授業内容を理解できた。	2.24	7.01	34.54	45.69	10.52	3.55	3.96	3.19
	問7 私はこの授業から新たな興味や問題意識を持つことができた。	3.39	9.23	34.31	40.93	12.15	3.48	3.83	2.94
	問〕 教員の説明・指示は明確であった。	2.48	6.68	26.85	50.31	13.69	3.65	4.26	2.69
	問2 教員の話し方は聞き取りやすかった。	3.10	7.01	25.46	49.69	14.74	3.65	4.25	2.63
	問3 資料はわかりやすかった。	4.01	10.21	31.69	42.96	11.12	3.46	4.31	2.49
3年	問4 教員は学生が授業に集中できる雰囲気作りに配慮していた。	2.48	6.12	31.87	46.92	12.61	3.60	4.31	2.86
	問5 教員に授業の質を高めようとする姿勢がみられた。	2.67	6.68	28.82	48.76	13.07	3.62	4.29	2.75
	問6 私はこの授業内容を理解できた。	4.49	9.64	34.99	42.15	8.74	3.40	3.99	2.54
	問7 私はこの授業から新たな興味や問題意識を持つことができた。	5.26	10.75	36.69	39.75	7.55	3.33	3.78	2.60
	問1 教員の説明・指示は明確であった。	2.03	7.97	29.00	49.88	11.13	3.71	4.45	2.98
	問2 教員の話し方は聞き取りやすかった。	2.36	9.85	26.86	47.36	13.57	3.72	4.42	3.01
	問3 資料はわかりやすかった。	3.35	12.63	32.09	42.60	9.33	3.51	4.19	2.77
4年	問4 教員は学生が授業に集中できる雰囲気作りに配慮していた。	1.89	6.32	30.13	48.99	12.68	3.73	4.45	3.16
	問5 教員に授業の質を高めようとする姿勢がみられた。	2.03	7.55	33.32	44.83	12.27	3.67	4.37	3.13
	問6 私はこの授業内容を理解できた。	3.30	9.95	36.13	42.50	8.11	3.52	4.30	2.67
	問7 私はこの授業から新たな興味や問題意識を持つことができた。	3.35	9.87	36.36	39.14	11.28	3.56	4.34	2.78
	問1 教員の説明・指示は明確であった。	5.29	10.37	19.05	40.12	25.16	3.70	4.64	2.63
	問2 教員の話し方は聞き取りやすかった。	3.99	7.32	17.53	40.80	30.37	3.86	4.72	2.68
	問3 資料はわかりやすかった。	6.44	12.51	27.91	34.74	18.41	3.46	4.47	2.58
5年	問4 教員は学生が授業に集中できる雰囲気作りに配慮していた。	5.68	7.10	20.44	40.16	26.61	3.75	4.56	2.88
	問5 教員に授業の質を高めようとする姿勢がみられた。	5.85	6.72	20.89	39.91	26.63	3.75	4.53	2.74
	問6 私はこの授業内容を理解できた。	6.39	9.13	23.17	45.68	15.63	3.55	4.28	2.22
	問7 私はこの授業から新たな興味や問題意識を持つことができた。	7.07	8.66	22.68	39.51	22.08	3.61	4.18	2.37



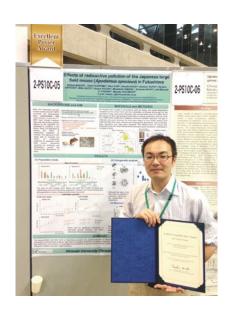


中田講師が15th International Congress of Radiation Research (ICRR2015) においてポスター賞を受賞しました

本学教員の中田章史講師(基礎薬学系・生命科学分野)が、5月25日(月)から29日(金)に36年ぶりに日本(京都)で開催された15th International Congress of Radiation Research [ICRR2015](第15回国際放射線研究会議)においてExcellent Poster Award(ポスター賞)を受賞しました。

東北大学加齢医学研究所、弘前大学医学部保健学科等との共同研究で、受賞タイトルは"Effects of radioactive pollution

of the Japanese large field mouse (Apodemus speciosus) in Fukushima" (放射線汚染地域に生息しているノネズミ〈アカネズミ〉の放射線物質の影響評価)で、放射線汚染地域に生息するノネズミに対する放射性物質の影響を調査し、個体群の動向、ネズミの被ばく線量の測定を行い、遺伝的影響は現段階では確認されていないことを明らかにしました。このことが高く評価され、今回の受賞に至りました。



平成28年度 学生募集要項(概要)

◎募集学部·学科/薬学部·薬学科(修業年限6年) ◎入学定員/210人

● 推薦入試

	公募制推薦	系列校推薦	同窓生子女自己推薦	指定校推薦
募集人員	15人	30人	10人	50人
出願期間	平成27年10月30日(金)~11月6日(金)必			着
試験日	平月	平成27年 11月15日(日)		
試験地	札幌(本学)			
試験内容	高等学校の学習 成績、基礎学力 試験(数学、外国 語、理科)、面接 (グループ)	書類審査、 面接(グループ)	高等学校の学習 成績、基礎学力 確認(理科)、面 接(個人)	書類審査、面接 (グループ:基礎 的な科学の知 識を含む)

● 一般入試

	前期	月 ※	後期	
	A日程	B日程		
募集人員	70人		5人	
出願期間	平成28年1月6日(水) ~1月22日(金)必着		平成28年2月12日(金) ~2月19日(金)必着	
試験日	平成28年 2月1日(月)	平成28年 2月2日(火)	平成28年2月27日(土)	
試験地	札幌(本学)、 旭川、函館、釧路、秋田、仙台、東京		札幌(本学)	
試験内容	数学、外国語、理科			

● 社会人入試

募集人員	3人
出願期間	平成27年10月30日(金)~11月6日(金)必着
試験日	平成27年11月14日(土)
試験地	札幌(本学)
試験内容	基礎学力試験(数学、外国語、理科)、面接(個人)

● 大学入試センター試験利用入試

	前 期	後 期		
募集人員	24人	3人		
出願期間	平成28年1月6日(水) ~1月28日(木)必着	平成28年2月12日(金) ~2月25日(木)必着		
試験日·試験地	本学独自の試験は実施しません。			
試験内容	数学、外国語、理科			

[※] 一般入試前期のA日程·B日程の両日受験も可能です。試験科目の詳細な範囲は学生募集要項を参照してください。

本学に関するよりくわしい情報は、ホームページでご覧ください。 http://www.hokuyakudai.ac.jp/

各地の基幹病院に聞く

市立稚内病院

"顔が見える医療、を 実践できる環境

地元の人たちの信頼に応えるため、そして地域包括ケアシステム の一翼を担っていくために、先進の設備とスキルアップの支援で 薬剤師の活躍を支える一

今回は、宗谷の基幹病院として専門医療を提供する市立稚内病 院を訪問し、國枝保幸院長、宮澤俊彦薬局長に、同院のさまざま な取組みと街の魅力についてうかがいました。



宗谷管内唯一の総合病院として 地域の期待を担う

國枝 北海道の、そして日本の最北 端、稚内市。1959年にこの地で開 院した市立稚内病院は、宗谷地方 唯一の総合病院です。他地域の主 要な医療機関までは距離がある土 地柄だけに地元の方々の期待も大 きく、"顔の見える医療。が実践で きる環境があります。専門医療が行 える拠点病院として、利尻島、礼文 島をはじめ、宗谷圏の広域から受診 にみえられる方が多いことも特徴で

宮澤 道央圏から遠く離れた田舎 の病院、というイメージを持たれる 方もいるかも知れませんが(笑)、充 実した設備をもった先端の医療機 関であることも自慢したい点です。



やアンプルピッカーを導入し、いず れも最新鋭の機器へと更新。薬剤師 の負担軽減に取り組むとともに、抗 がん剤のミキシングの調剤支援シス テムもいち早く採用し、すべて薬局 内で行っています。

國枝 医療環境の充実を図ると同 時に、この地域の医療と当院の現状 などについて知っていただく活動も 行っています。市民の方々に直接、お 話する機会を積極的に設けているほ か、市の広報にも「市立病院だより」 として連載。少しずつ理解も深まり、 今春には「市立病院を守る会」が立 ち上がるなど、さらに信頼度も高ま りつつあると自負しています。

宮澤 稚内は、薬剤師の研鑽にも積 極的な地域で、医師会、薬剤師会、 病院薬剤師会が共催する学術講演 会が年8回開催されているほか、疾 病に関するセミナーなども行われて います。こうした場を通して、調剤薬 局の薬剤師との交流もあり、広い視 野で最新の情報を得る機会にも なっていますね。



認定薬剤師、専門薬剤師への スキルアップを全面支援

國枝 地域包括ケアが一つのかた ちとして確立されているのも稚内の 特徴です。訪問診療に取り組む病院 と連携を図り、必要に応じてサービ

スが提供できるシステムが、ほぼで きあがっているんです。

宮澤 薬薬連携についても、体制を 整えていくために中心的な役割を果



院長 國枝 保幸氏



薬局長 宮澤 俊彦 氏

送を行っているほか、他科でも人員確

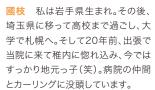
たしていければと思っています。北海 道病院薬剤師会稚内支部のメン バー18名のうち12名が病院に勤務 していますが、6名は当院の薬剤師 です。とはいえ、8病棟のうち薬剤管 理指導に行けているのは、3病棟だ けという状況ですが……。

國枝 人材不足は医師も同じ。循環 器内科には現在、固定の医師がおら ず、カテーテル検査が必要な心臓疾患 などは名寄市立総合病院へと救急搬

保が必要な状況にあるのが悩みです。 宮澤 高度化する医療に対応する ため、今後は認定薬剤師、専門薬剤 師を目指すなど、薬剤師もスキルを 高めていく必要があり、当院では資 格取得などを全面的にバックアップ しています。その点でも都市部の病 院に負けない自信はあります。ぜひ、 稚内でワンランク上のプロフェッショ

ナルを目指してください。 地域の役に立っているという

実感をもって働ける



宮澤 30人ほどの病院スタッフで チームをつくっており、女子は全日本 の大会、男子も全道大会に出場する 実力なんですよ。スタッフ同十のコ ミュニケーションの良さも市立稚内 病院のアピールポイントです。

國枝 クリスマスコンサートなど、患 者様とともに楽しむイベントも行っ ています。

室選 フラダンスのチームに来ても

らったり、地元のひょっとこ踊りに華 を添えてもらったり……なかなか評 判がいいんですよ。

國枝 それと、海の街ならではの魚 介類。しかも、カニでもウニでも、買っ て食べるということは、ほとんどない ですよね。

宮澤 近所の方などから、いただく ことが多いですね(笑)。いつも旬の 味覚を堪能しています。

國枝 それだけ、人と人との距離が 近い街でもあり、医療従事者を厳し くも温かく、見守ってくれる地域で す。誰かの役に立っている、そんな実 感を、北薬大で学んだ方々にも味 わって欲しいと願っています。



本学臨床薬学系主任 早川達

水海道薬科大学

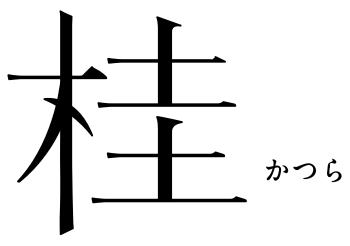
〒006-8590 北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4-1 TEL: 011-688-7187 FAX: 011-681-3622 HP: www.hokuvakudai.ac.ip

企画編集·発行: 北海道薬科大学 広報部

+Professional

ヒューマニティ、コミュニケーション能力、問題発見・解決能力、マネジメント 能力といった基盤能力を基に、専門性を身につけている人材が社会に 求められています。したがって、単に「Professional」だけではなく、後付けの 「Professional+」でもない、基盤能力を前提とする「+Professional」を 育成する。すべての設置校に共通する、わたしたちのスローガンです。

靉北海道科学大学 北海道科学大学 北海道科学大学短期大学部 北海道薬科大学附属薬局 北海道尚志学園高等学校 北海道自動車学校



北薬大情報

北海道薬科大学広報部

2016.3.8

vol. 125



●本学の研究グループが日本薬局学会優秀賞を受賞 ●平成27年度「寿原記念財団の研究助成金」に採択されました

●瀋陽薬科大学の于楊先生が帰国しました ●薬剤師実践英会話教室の紹介



2 稲峰祭での薬物乱用防止活動

4 大学院博士学位論文発表会のようす

3 中学生向け薬剤師体験教室でのパイタルサイン測定

第48回稲峰祭を開催

第48回稲峰祭を9月26日(土)・27日(日)に開催しました。以下、桂青会役員より開催概要について報告します。

第48回 稲峰祭報告

- 大学祭企画局局長 4年 米田 智哉

平成27年9月26日(土)・27日(日)に、第48回稲峰祭(とうほうさい)が行われました。来場者が多く、とても賑やかな大学祭になりました。

「北薬祭ではないのか?」と思われる方も 多いと思いますが、北海道薬科大学の校舎 移転に伴い、北海道科学大学と同じ地で大 学祭を合同開催するにあたり、昨年から 「稲峰祭」という名称を準備してきました。 今年度の稲峰祭では、北海道薬科大学が 前年度まで行ってきた、北薬祭の魅力であ るステージイベントや露店、薬物乱用防止 キャンペーンなども取り入れ、更にスケー ルの大きな大学祭を開催することができま した。当日は、クイズ、カラオケ、ビンゴ大会や



にぎわう模擬店コーナー

ねごとLIVE、スタンプラリーなど、子どもから大人まで楽しめるイベントが沢山ありました。その他にも部活動やさまざまな団体が店を出して、より一層お祭り感が増した雰囲気となって、楽しい大学祭になりました。私たち、北海道薬科大学の学生にとっては初めての開催地ということもあり、その規模や来場者数、盛り上がりに圧倒される部分も若干ありましたが、大きな事故もなく楽しむことができ、大学生活の思い出の一つになりました。

私は初めて実行委員長として、実行委員と 共に準備から当日の運営まで取り組みましたが、無事、当日を迎えることができ、そして2 日間にわたって多くの方々に楽しんで頂き、



ビンゴ大会のようす

本当にやり甲斐がありました。参加された皆 さんのご協力のお陰で楽しく運営することが できました。本当にありがとうございました。

このような稲峰祭を創ることができたのは実行委員一人ひとりが責任感を持ち、自分の仕事を全うした結果だと思います。そんな実行委員を私は心から誇りに思います。来年度の開催に向けて、現在も着々と準備が進んでいる状況ですが、北海道科学大学、北海道科学大学短期大学部、地域の方々との連携や交流を深め、よりパワーアップしたスケールの大きな大学祭を目指して、実行委員一同、精進して参ります。次回の稲峰祭でも、より多くの方と同じ時間を共有できることを願っています。



ステージイベントのようす

第2回就職相談会を開催

8月31日(月)、9月1日(火)・2日(水) の3日間、B棟2階の学習室および多目的 演習室において第2回就職相談会を開催 しました。

今回は初めての試みとして3日間の開催とし、さらに会場内の面談ブースとは別に採用面接会場を設けて実施しました。病院(87)、薬局(75)、製薬企業・医薬品卸・行政機関など(16)、計178企業が学生との個別面談と、6企業が会場で面接試験を行いました。参加学生は初日が41名、2日目は53名、3日目は35名でした。「1日開催の場合には多くの企業

ブースを訪問できなかったが、3日間開催されたため、多くの企業ブースを訪れ



会場(多目的演習室)のようす

ることができた」という学生の感想もあり ました。



ブースで説明を受ける学生



薬系キャリア研究会(ランチョンセミナー)を開催

前期(6月~7月)と後期(9月~12月)に分けて、薬系キャリア研究会(ランチョンセミナー)を開催しました。ランチョンセミナーは学生に対して薬系企業の担当者より情報を提供していただくことを目的とした企画です。今年度は15社が実施しました。

研究会では、薬局、病院などの採用担当

者や本学出身の先輩に、企業の概要や社会 的役割、社会から望まれる薬剤師像、薬剤 師研修体制などを語っていただきました。

各回とも参加した学生は、熱心に担当者 の説明に耳を傾け、今後の就職活動や進路 を考えるうえで極めて有意義な機会となり ました。



中学生と保護者を対象にした薬剤師体験教室を開催

大学祭期間中の9月27日(日)に、共用講義棟(A棟)と研究棟(B棟)で中学生と保護者対象の「親子のための体験薬剤師」を、日本薬学会北海道支部との共同主催、秋山記念生命科学振興財団との共催、札幌薬剤師会、小樽薬剤師会の協賛のもとに開催したもので、当日は中学生30名と保護者33名の合計63名が参加しました。

生徒の皆さんは薬学や薬剤師についての 説明の後、生命現象についてのミニ講義を 受けました。その後、バイタルサインの測 定、色々な"かたち"の薬に触れる体験実習 や、薬用植物園の植物を使用した薬用入浴 剤づくり、リップクリームづくり、ルームフレ グランスづくりの5種類の体験教室にそれ ぞれ参加しました。



色々な"かたち"の薬に触れる体験実習

実際に大学で薬学を体験したことで、これまで以上に薬学部や「薬剤師」という職業に関心を持てただけではなく、学校の勉強への興味にも繋がったようです。



薬学についての説明のようす



第3回オープンキャンパスを開催

10月4日(日)に第3回オープンキャンパスを開催しました。入試相談会等では体験できない模擬講義、体験実習をとおして、学生生活についてのトークなど、本学を身近に感じてもらうためのイベントです。

学長挨拶・大学紹介に続き、模擬講義を 開講しました。参加者は3つの講義のうち 興味のあるテーマを自由に選択して受講 し、普段は知ることのできない薬剤師の仕 事や、高校の授業とは違う大学の講義を実 感しました。



無菌調剤のようす

その後、予防着を着用して無菌室に入り、注射剤を調製する「無菌調剤」、散剤調剤と薬局の窓口を想定して模擬患者とのロールプレイを行う「散剤調剤・患者コミュニケーション」、科学研究部の学生と生活に身近なものを使った実験で体内現象を学べる「科学実験」などの実施された6つの体験実習から参加者はやってみたい実習を自由に選択し、大学での実習を一足先に模擬体験しました。

その他にも、在学生から授業や実務実習



患者コミュニケーションのようす

などの学生生活を聞くことができる在学生とのトークコーナーや在学生がガイドとなり特徴的な施設・設備を紹介する施設見学ツアー、今回新たに開催した薬物乱用防止局の活動をポスター形式でわかりやすく紹介するコーナーなど盛りだくさんの内容でした。

今年度最後のオープンキャンパスでしたが、多くの方に足を運んでいただき盛況のうちに終了しました。次年度も本学および薬学への理解をより深めていただける内容でお待ちしております。



科学実験のようす



札幌手稲高等学校・北海道薬科大学連携インターンシップを実施

10月29日(木)に、札幌手稲高等学校・ 北海道薬科大学連携「薬剤師インターン シップ」を実施しました。

薬剤師に関心をもつ札幌手稲高校1年 生17名を対象として、午前中は共用講義 棟(A棟)において教員(山下浩准教授)、病 院薬剤師(NTT東日本札幌病院 白川貴章 氏)、在学生(5年生 藤松真由さん・大学院 生 村尾優さん)から、3つの違った視点で、薬剤師の仕事について講義を行いました。

午後は3グループに分かれ、手稲渓仁会病院、NTT東日本札幌病院、KKR札幌医療センターにおいて薬剤師業務を見学しました。病院薬剤師の仕事や病院内を実際に見て、薬剤師への興味を深めたようでした。



講義を行う白川氏



3大学合同入試直前相談会を開催

12月20日(日)~22日(火)に、さっぽるテレビ塔2階イベントホールにて、北海道科学大学、北海道科学大学短期大学部、北海道薬科大学で合同入試直前相談会を開催しました。

入試制度や日程など受験についての質問・疑問を直接相談できることを目的とした企画です。

当日会場まで来られない方のために、20日(日)限定でWebにてLive相談会も実施しました。各大学の受験コンシェルジュが入試についてわかりやすく解説し、当日は多くの方にご視聴いただきました。

会場にも多くの方に足を運んでいただ き、試験内容の詳細や入学願書の書き方



会場(さっぽろテレビ塔)のようす

など、たくさんの質問があり、受験前の不安を解消できたようでした。



WebLive相談会のようす



本学奨学生(1年生)の証書授与式を行いました

本学奨学生(1年生)が決定し、学長室において11月5日(木)に証書授与式を行いました。本学入学後の前期に優秀な成績を収め、人物優秀者と認められた1年生10名に6万円ずつ給付しました。

奨学生は次の10名です。

学部奨学生

井上 優希、大井 優奈、小川 真弥、 佐藤 真由子、清水 彩也香、鈴木 大智、 永井 辰宜、藤家 大弥、

山崎 日花里、山本 晟蓮





父母後援会奨学生証書授与式が行われました

本学父母後援会奨学金規定に基づいた平成27年度の奨学生20名が決定し、12月8日(火)、本学講義室において、奨学生証書授与式が行われました。父母後

援会奨学金制度は、学業・人物ともに優れ、経済的理由により修学困難な学生20名に奨学金10万円を給付するもので、平成21年度に設立されました。

授与式では、熊倉父母後援会会長から 奨学生証書が授与された後、お祝いと激励の言葉がありました。



父母懇談会を開催

地方会場(道内5地区:北見・釧路・旭川・ 帯広・函館、道外4地区:青森・秋田・盛岡・ 東京)で10月17日(土)・18日(日)に、本学 会場(札幌)で10月24日(土)に父母懇談 会を開催しました。

今年度は地方会場86組、本学会場295 組のご父母に参加いただき、日頃のご子女 の学修、生活、就職・進路などの情報交換を 行いました。今後とも、ご父母の皆様と密に 連携を図りながら、学生の支援を行ってい きますので、次年度も多くのご父母のご参 加をお待ちしております。



本学学生が第22回日本未病システム学会 学術総会で優秀演題賞を受賞

10月11日(日)、12日(月)に北海道大学学術交流会館で開催された第22回日本未病システム学会学術総会において、本学6年生の金澤沙衣さん(指導教員:薬剤学分野 佐藤隆司准教授)が「小腸におけるアルミノプロフェンの吸収・排出機構」の演題

で、優秀演題賞を受賞しました。

本研究は卒業研究の成果をまとめたもので、非ステロイド性抗炎症薬であるアルミノプロフェンの吸収過程に関与するトランスポーターを明らかとしたことが高く評価されました。





実習Ⅲ、実習Ⅴの報告会を実施しました

11月9日(月)~11日(水)の3日間にわたり、実習|||介護福祉体験学習(2年生)、 実習V薬剤師業務体験学習(3年生)の報告会を行いました。

2年生は、介護福祉施設で学んだ高齢者や障がいを持っている方とのコミュニケーションのとり方などについて発表し

ました。3年生は、保健所・製薬企業・血液センター・受託研究施設・医薬品卸・保険調剤薬局・ドラッグストア等の実習施設で体験した業務内容やお客様への対応の工夫などについて発表しました。3年生の会場には、お世話になった実習施設の方も来られており、学生は緊張した面



持ちで報告を行うとともに、活発な質疑 応答が行われました。

実験動物慰霊祭を執り行いました

12月11日(金)に、祭壇を仮設した本学演習室において、手稲神社の 横井康大神主を招き、実験動物慰霊祭を執り行いました。渡辺学長を はじめ関係教職員、大学院生、学部学生が多数参列し、玉串を祭壇に捧 げ、教育・研究に寄与した実験動物の霊を慰めました。



ハラスメント防止講演会を開催

9月17日(木)に、札幌あすかぜ法律事務所の弁護士川北映輔氏による、教職員を対象にしたハラスメント防止講演会を開催しました。大学や学会などの教育研究の場で起こりうるハラスメントとその防止策について知識を深め、大学内がより良い環境になることを目的に講演していただきました。

薬学部を卒業された経歴のある川北弁

護士から、薬学の観点からの法律の関わりやハラスメントにおける大学の特殊性、パワーハラスメントやアカデミックハラスメントなどのさまざまなハラスメントの背景や防止策を解説していただきました。

参加した教職員は真剣に聞き入り、終了後には積極的な質疑応答が行われました。





大学院博士学位論文発表会を開催

1月15日(金)、A301講義室において、大学院博士課程4年生の博士論文発表会を開催しました。発表者は臨床薬学専攻の2名で、発表後の質疑応答では活発な討論が行われました。





手稲区防災訓練に参加

8月27日(木)に、「てっぽく・ひろば」と 「手稲鉄北小学校体育館」で行われた『平成 27年度手稲区防災訓練』に参加しました。

この防災訓練は、大規模な地震災害を想定し、地域の自主防衛組織における災害対応力の向上、地域住民・防災関係機関との連携強化を通じて、自主防災意識の醸成を図ることを目的に開催されたものです。

訓練では、煙道通過訓練、初期消火訓練、防水訓練、給水体験、災害対応型自動販売機体験、応急救護体験、負傷者処置体験、搬送体験、救出救護訓練、結索体験訓練、避難場所生活体験訓練、心肺蘇生訓練

に参加したほか、手稲渓仁会病院の災害派遣医療チーム(DMAT)によるトリアージと呼ばれる重症度、緊急度などによって負傷



ドクターヘリによる搬送訓練

者を分類する訓練やドクターへリによる負傷者搬送、札幌市手稲消防署による救助機材を使用した救出活動を見学しました。



心肺蘇生訓練のようす



PUBLIC RELATIONS MAGAZINE

冬道交通安全講習会(SDA)を開催

11月19日(木)に、冬道交通安全講習 会を開催しました。SDA会長・村上彩子 さん(3年)の司会で進められ、112人の 学生が参加しました。

北海道自動車学校の佐藤博幸先生に より「冬道安全運転について」と題して講 演が行われました。ブラックアイスバーン の危険性、スリップ事故の特徴、冬道運転 のコツ、各種車体やタイヤと冬道運転との 関係について、わかりやすいお話をいただ きました。参加した学生は真剣に聞き入っ ていました。



4機関合同による地震災害対応訓練を実施

12月13日(日)に、教育機関(北海道科 学大学·北海道科学大学短期大学部·北海 道薬科大学)、医療機関、警察機関、消防機 関の4機関合同による「地震災害対応訓 練」を実施しました。この訓練は、被災者を 迅速かつ効率的に救出するため、関係機関 との連携を再確認することを目的に手稲消 防署が計画したものです。

北海道科学大学(短期大学部含む)と北 海道薬科大学の学生92名と職員・警備員 15名、手稲渓仁会病院の医師・医療スタッ フ4名、手稲警察署の警察官9名、消防機関



本番さながらの救急救助訓練

職員(手稲消防署:石狩消防署:小樽市消 防本部)81名、消防車両8台、救急車両3 台、警察車両3台が参加し、「札幌市におい て最大震度7の直下型地震が発生、HITプ ラザ(食堂)が半倒壊し多数の負傷者が発 生した」との想定で、救急救助活動を中心 に本番さながらの訓練を実施しました。

訓練では、半倒壊したHITプラザで建物 内を逃げ惑う避難者役の学生や、救助と手 当を待つ負傷者役の学生を、大学関係者を 含む自衛消防隊役の学生たちが被災現場 から避難搬送し、同時に発生したという想



消火訓練のようす

定の火災を消火するなどの活動を行いまし た。その後、駆けつけた消防・警察関係者に より、迅速な救助活動が行われ重症者が搬 出されました。体育館には応急救護所を設 置し、運ばれて来た負傷者には、災害などの 非常時に患者の重症度によって搬送・治療 等の優先順序を判定するトリアージタグが 救急隊員によって付けられ、医療スタッフに よる応急処置が行われました。

訓練終了後には、参加した関係者による 検討会が行われ、今後の救急救助活動の 参考となる多くの意見が交わされました。



検討会のようす



北海道科学大学保健医療学部と合同でFDワークショップを開催

2月13日(土)、本学の臨床系教員20名 および北海道科学大学保健医療学部の教 員18名の参加による合同FD企画「専門 職連携教育(IPE:Inter-professional Education)企画と実践ワークショップ」 を開催しました。

名古屋大学地域医療教育学講座の安井 浩樹准教授、名古屋大学病院卒後臨床研 修・キャリア形成支援センター看護キャリ ア支援室准教授の阿部惠子先生を講師と してお招きし、名古屋大学におけるIPEの

実践例、IPE導入のポイント等についてご 指導いただきました。また、午後のワークで は、各学科のカリキュラムの共有の後、グ ループ毎にIPEの授業概要の作成体験も 行いました。

参加者からは、「IPEの考え方や授業イ メージが理解できた」、「他医療職の役割や 教育について、自分がほとんど理解してな いことを認識できた。このような機会を今 後も継続していくべきである」、「大変充実 した内容だった。導入を前提としたシナリ オ作成のワークショップも開催してほし い」といった声が数多く聞かれた、大変充 実したワークショップとなりました。





北海道科学大学の公開講座で本学教員が講演

1月30日(土)に、小樽市立病院2階講堂にて、一般の方を対象とした第1回市民公開講座「健やかに生き生きと暮らす」を北海道科学大学、北海道科学大学短期大学部、北海道薬科大学、小樽市の共催で開催しました。

第1部では北海道科学大学看護学科の松原三智子准教授による「健康寿命を長く保とう!ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の予防」と題した講演を行いました。健康を維持するための食生活についての説明や、下半身を使った簡単な運動を紹介しました。

第2部では本学医薬化学分野の山下浩 准教授による「薬とハーブとサプリメントの 話」と題した講演を行いました。日本で独自 に発展した漢方医学について詳しい解説の



ほか、陳皮や高麗人参などのサンプルを展示しました。

受講した皆さんからは、2講座とも多くの 質問があり、盛会のうちに終了しました。



北斗市、函館市で北海道薬科大学市民公開講座を開催

2月13日(土)、2月14日(日)に、北斗市 (北斗市総合文化センター)と函館市(サン・リフレ函館)において、両市の教育委員 会および北海道薬科大学同窓会の後援を 得て、「北海道薬科大学 市民公開講座」を 開催しました。

はじめに、北海道薬科大学広報部長の佐藤久美教授の挨拶があり、薬理学分野の小松健一准教授による「伝統医学について考える一未病を治す漢方医学やサプリメント

の利用について考えるー」と題する講座では、医薬品と健康食品の違いや適切な情報の収集、漢方医学とは何か?などについての詳しい説明がありました。

両会場では、陳皮、桂皮、ニンジンなど、7 種類の生薬が展示され、受講者自身で香り や効能などを確かめながら袋に詰めて、オ リジナルの漢方入浴剤を作りました。

参加した31名(北斗市:13名、函館市:18 名)の皆さんは熱心に耳を傾け、講座終了後 には多くの質問がありました。北斗市と函館 市では薬に関する講座が少ないので、今後 も継続してほしいとの要望もありました。



本学で手稲区富丘・西宮の沢連合町内会女性部の 研修会が開催されました

2月19日(金)に、富丘・西宮の沢連合町内会女性部の皆さんが研修会のため本学を訪れました。この研修会は、本学と手稲区連合町内会連絡協議会が「地域連携協定」を締結していることにより開催されました。

薬剤学分野の佐藤隆司准教授が講師となり、模擬講義「くすりと食品の相互作用ーよい面・悪い面ー」を行いました。研修会に参加された34名の皆さんはメモを取るなどして真剣に受講していました。

その後、広報部の佐藤久美教授、郡教授、板倉准教授の誘導による施設見学を行

いました。学生の勉強の場であるB棟2階のラーニング・コモンズや、実際に実験・研究が行われている研究室などを見学した皆さんは、新しい施設や大学教育の現場の設備に興味深そうなようすでした。施設見



講義を行う佐藤隆司准教授

学終了後には、食堂(HITプラザ)で学食を体験していただきました。

今回の研修会は、小樽市から札幌市手 稲区前田キャンパスに移転した本学につい て、知っていただく良い機会となりました。



施設・設備の紹介



桂

北薬特別講演会を開催

A106講義室において、年間5回に分けて、第107~111回北薬特別講演会を開催しました。これは、学部学生、大学院生および教職員を対象に、海外留学の帰朝

報告や教育研究奨励費の結果報告、新任 教員による研究紹介などを目的として毎 年開催しているものです。

どの講演も、多くの学生および教職員

が参加し、熱心に耳を傾けていました。 講演内容は以下のとおりです。

平成26年度 奨励費結果報告		
髙栗 郷 准教授	「新規ADAM17結合タンパク質の同定」	
町田 麻依子 准教授	「がん化学療法による末梢神経障害の客観的評価方法の検討」	
水上 徳美 准教授	「アルキンコバルト錯体を利用したApparicineの合成研究」	
山下 美妃 准教授	「局所麻酔薬過剰投与時における脂肪乳剤の有用性に関する検討」	

平成26年度 海外研修報告

猪爪 信夫 教授

「双胎妊婦とその新生児におけるリトドリン体内動態」

平成26年度 奨励費結果報告および海外研修報告

戸上 紘平 講師

^rAltered intrapulmonary pharmacokinetics of aerosolized drugs due to the disruption of the alveolar epithelial barrier in animals with bleomycin-induced pulmonary fibrosis J

平成26年度 奨励費結果報告 および 平成27年度 海外研修報告

向 祐志 助教

^rInhibition of paclitaxel metabolism by losartan and a losartan metabolite depends on *CYP2C8* and *CYP2C9* genotypes of human liver microsomes_J

平成2/年度 海外研修	平成2/年度 海外研修報告		
大野 拓恵 教授	「What is needed for a truly cooperative-learning class?」		
和田 浩二 教授	「アメリカ生薬学会への参加・発表報告」		
村岡 早苗 准教授	「Change of anti-oxidative ability with differentiation to adipocytes」		
三原 義広 講師	「Development of shuttle adsorbent between the bottom and surface of water for adsorption of pollutants」		
柳本 ひとみ 講師	「AWARENESS OF HOME MEDICAL CARE BY COMMUNITY PHARMACISTS IN HOKKAIDO, JAPAN」		

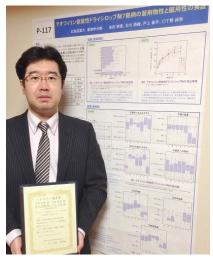
平成27年度 新任教員研究紹介		
前田 伸司 教授	「結核菌の型別分析法の開発と薬剤耐性に関連する結核菌遺伝系統」	
三浦 淳 教授	「薬理遺伝学の実践をめざして」	
今井 伸一 准教授	「ジアシルグリセロールキナーゼとメタロチオネイン」	
岸本 桂子 准教授	「社会薬学領域における研究」	
馬場 暁子 講師	「カルボン酸系医薬品のグルクロン酸抱合体:簡便なchemo-enzymatic合成法の確立と 親電子的反応性に関する構造活性相関」	
村岡 千種 講師	「薬剤師-患者関係の再構築:ロールプレイ実習によるコミュニケーションプロセスの検討」	



本学の研究グループが 日本薬局学会優秀賞を受賞

丁野純男教授(応用薬学系・薬剤学分野)の研究グループが、第9回日本薬局学会学術総会(9月27日(日)、横浜)において、「テオフィリン徐放性ドライシロップ剤7銘柄の製剤物性と服用性の実証」の演題でポスター優秀賞を受賞しました。テオフィリン徐放性ドライシロップ

剤の製剤物性と服用性を製剤学的な観点から科学的に考察し、薬局や病院での銘柄選択に示唆を与える成果をもたらしたことが高く評価されました。共同受賞者は、丁野純男教授(代表者)、戸上紘平講師、卒業生の石川詩織さんと池田明里さんです。



研究グループ代表者の丁野教授

平成27年度「寿原記念財団の研究助成金」に採択されました

公益財団法人寿原記念財団の研究助成金に、本学教員の研究テーマが採択されました。

丁野 純男 教授

研究テーマ

次世代蛍光イメージングDDSが拓く 動脈硬化の早期発見・早期診断法の創製(助成額: 120万円)

瀋陽薬科大学の于楊先生が帰国しました

瀋陽薬科大学との学術交流協定に基づき、平成27年度短期外国人研修制度により来学していた于楊(Yu Yang)先生が3月1日(火)に帰国しました。

于先生は、平成27年10月8日(木)より、丹保好子教授の研究グループで血管内皮細胞における炎症誘導物質の影響に関する研究に携わり、非常に熱心に研究に取り組んでいました。帰国後も本研修制度での経験を活かした于先生の活躍を期待しています。



于先生(前列中央)との記念撮影

桂

薬剤師実践英会話教室の紹介

医薬情報解析学分野 講師 梅田 純代

平成25年5月より、本学のサテライトキャンパスで、春と秋に4~5回(月2回・1回につき1時間・夜7時から)、薬剤師の現場で役立つ「薬剤師実践英会話教室(PEP)」を開催しています。構成メンバーは本学の基礎教育系(英語)と社会薬学系教員の有志、そして本学非常勤講師のカナダ人講師です。レッスンでは、「読む、聞く、話す」英語を実践します。薬剤師業務に役する単語を表現を覚び、そのうえで、症状や患者さんの訴えに関する単語や表現を覚び、そのうえで、悪説明のロールプレイを英語で行います。時節柄よ

く生じる疾患を取り上げるので、病院、薬局、ドラッグストアで実践しやすい内容としています。1回完結型のレッスンなので、都合のつくときに参加できます。受講生は薬局や病院の薬剤師、看護師、介護福祉士、学生、離職者とさまざまです。きちんとした英語の文章でうまく話せなくても、単語や身振りで表現することによって、外国人講師があなたの質問や伝えたいことを英語で引き出してくれます。また、本学教員がサポートしますので、英語に自信がなくても大丈夫です。

平成28年度は5月から開催を予定して

いますので、興味のある方は是非、PEP事務局(gotopepa@yahoo.co.jp)まで、ご連絡ください。お待ちしております。



◎平成25年度~27年度 開催レッスン内容

期	テーマ
	Cold symptoms (風邪の症状)
平代25左连 关切	Intestinal problems(腸の疾患)
平成25年度 前期	Muscle and joint pain(筋肉痛、関節痛)
	Review(総まとめ)
	Atrial fibrillation(不整脈 初回インタビュー)
	Atrial fibrillation (不整脈 服薬説明)
亚式25年度 % 期	Asthma(喘息 初回インタビュー)
平成25年度後期	Asthma (喘息 服薬説明)
	herpes zoster (帯状疱疹 初回インタビュー)
	herpes zoster (帯状疱疹 服薬説明)
	How to talk to the patient(初回インタビュー・服薬説明)
	Cold(風邪症状)
平成26年度 前期	Eye drops for dried eyes(ドライアイのための点眼)
	Pain killer , Pain reliever(鎮痛剤)
	Review(総まとめ)
	Patient Compliance Instructions(患者への服薬説明)
	Vomitting and Diarrhea(食あたり:嘔吐と下痢)
平成26年度後期	Fell down(転倒)
	Idiopathic urticaria(特発性蕁麻疹)
	Medicine Use(服薬確認とカウンセリング:喘息患者)
	Expression of Pain(痛みの表現)
	Cold expressions(風邪の表現)
平成27年度 前期	Getting to know the patient(患者インタビュー)
十成27千皮 时期	At the drug store -Cold-(ドラッグストアでの風邪症状)
	Vital signs(バイタルサイン)
	Review(総まとめ)
	First time at a community pharmacy(保険薬局での初回インタビュー)
平成27年度 後期	All about the Flu(インフルエンザ)
1 % 2 1 干区 区别	High-risk Medicines(ハイリスク薬)
	Review(総まとめ)



手稲・前田 NAV "仲間と語り合える場所、楽しめる場所"

軽川緑地

札幌市手稲区前田1条10~8条8

市民の手による 美しい桜並木と 川の上を泳ぐ鯉のぼり

春を代表する風景といえば、桜。一斉に咲き誇る可憐な花弁の姿、 色合いが暖かな季節を迎えた喜びを一層、引き立ててくれます。桜 の名所は各地にありますが、手稲にもぜひ、訪ねてみたいスポット があります。それは『軽川緑地』。手稲山麓から流れ出て市街地を通 り、一旦、地下を流れた後、JR函館本線の北側で再び姿を現す軽川 の両岸約1kmが、エゾヤマザクラ、チシマザクラ、サトザクラなどの 桜並木となっています。これは、地域の人たちの手で植えられたも ので、道内で初めて国交省の桜つづみモデル事業に認定されまし た。桜が満開になる子どもの日の前後には、川の上にたくさんの鯉 のぼりが泳ぎます。









水車

札幌市手稲区手稲本町1条3-3

軽川の水で、 水車を回していたことがある老舗店

1895(明治28)年に、米や日用品を扱う商店として手稲駅前で創業、 その後、和菓子店となった地域の老舗です。明治期、手稲は物資流通 の拠点となった小樽と札幌の中継点として開けますが、その当時、軽川 の水をひき、水車で米をつく搗精(とうせい)業を営んでいたことが店名 の由来。2015年3月、駅前再開発によりコンビニエンスストアを併設し た真新しい店舗となりました。豆大福、草大福のほか手稲特産かぼちゃ 「大浜みやこ」を使ったお団子、蒸しパン、お赤飯なども人気です。

北海道薬科大学

〒006-8590 北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4-1 TEL: 011-688-7187 FAX: 011-681-3622 HP: www.hokuvakudai.ac.ip

企画編集·発行: 北海道薬科大学 広報部

+Professional

ヒューマニティ、コミュニケーション能力、問題発見・解決能力、マネジメント 能力といった基盤能力を基に、専門性を身につけている人材が社会に 求められています。したがって、単に「Professional」だけではなく、後付けの 「Professional+」でもない、基盤能力を前提とする「+Professional」を 育成する。すべての設置校に共通する、わたしたちのスローガンです。

靉北海道科学大学 北海道科学大学 北海道科学大学短期大学部 北海道薬科大学附属薬局 北海道尚志学園高等学校 北海道自動車学校